

名古屋芸術大学

後援会報

第43号 2007年9月20日発行

ごあいさつ



後援会長 馬場 達郎

名古屋芸術大学後援会の皆様には、本学発展のため格別なご支援とご尽力を賜りありがとうございます。去る五月の後援会総会において後援会長を拝命いたしました馬場達郎です。この一年間、皆様には大変お世話になります。宜しく申し上げます。

本大学には無気力・無感動といわれる若者たちとは縁のない学生が多くいます。ここにいたるまでは、先生方の教育への熱い想いとそれに応える学生たち、そして応援する保護者の皆様のお力添えの賜と思っております。世の中、若者たちの間では就労意識の低いニートが問題になっています。ところが名古屋芸術大学には目の輝いた学生が多く、仕事に対する意識がきちんとしています。一生で見れば、いつ能力を発揮するのかの違いなので、意欲と努力があれば伸びる学生はいくらでもいると思います。新学部「人間発達学部子ども発達学科」も増えて、芸術・音楽・デザイン・各学部の学生の皆さんは将来のリーダーに成りうる人材です。金の卵の学生さんたちには、各学部専門の大勢の先生方、調った広い学校、空気の良い自然環境など理想的な学習環境のなかで、自分の置かれている立場・環境に甘える事なく感性を磨き一念発起していただきたいです。

最後に名古屋芸術大学後援会の皆様におかれましては、ますますのご活躍を祈念申し上げますとともに今後とも本校の教育活動へのご支援を引き続きお願いいたします。



学長 榊 達雄

名古屋芸術大学後援会役員の皆様をはじめ保護者の皆様には、日頃から本学の教育および学生の生活充実のために、暖かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

本年4月より、人間発達学部が発足し、本学は、音楽学部、美術学部およびデザイン学部とともに4学部を擁する芸術系の総合大学となりました。学則上の目的規定も、芸術に関する専門の学術技芸、および人間発達に関する専門の知識を教授研究し、ならびに総合的教養を授け、もってわが国の芸術文化および人間発達の創造発展に寄与する人材を養成することとしました。そして、従来にもまして本学の総合芸術大学としての内容を豊かにしていく所存です。

どこの大学でも、改革は休みなく行われていますが、本学でも、2006年3月デザイン学部は完成年度を終え（美術学部デザイン科廃止）、2007年度には音楽学部の2学科への再編は3年目を迎え、また、すでに新聞等で報道されましたように、2008年度からの美術学部1学科への再編の文科省申請は、受理されました。

また本学は、地域に根ざすとともに、世界に開かれた大学として、ヨーロッパ諸国、アジア諸国、アメリカ合衆国、オーストラリアの諸大学との国際交流を行っていますが、今後ともこの特色の維持・発展に努めていきます。

2007年度 名古屋芸術大学後援会 定期総会

2007年5月13日(日)13時より、東キャンパス1号館701教室にて2007年度名古屋芸術大学後援会定期総会が開催されました。今年度は、定期総会後に大学主催の教育懇談会も同時に開催されことにより例年にくらべて倍近い出席者となりました。

2006年度 名古屋芸術大学後援会事業報告

月 日	事業内容	開催場所
5月14日	2006年度後援会定期総会事前打合せ 2006年度後援会定期総会	西キャンパス
5月31日	法人より委託徴収金振替 (西キャンパス前期分)	
6月1日 ～5日	イギリス ブライトン大学ディグリーショウ 後援会副会長他大学関係者参加	イギリス
6月16日	法人より委託徴収金振替 (東キャンパス前期分)	
6月22日	後援会より補助金各学部一括交付	
6月24日	第1回役員会(所属委員会決定)	名古屋駅
7月8日	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	西キャンパス
9月20日	名古屋芸術大学後援会報第41号発行	
10月21日 ～22日	後援会研修旅行 1泊2日 宝塚劇場、奈良県立美術館	
11月3日	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月11日	法人より委託徴収金振替 (両キャンパス後期分)	
1月13日	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	金山
2月24日	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	西キャンパス
3月2日	ブライトン大学賞表彰式(会長)	名古屋東急ホテル
3月22日	卒業式参列(会長・副会長)	名古屋市民会館
3月22日	謝恩会出席(会長・役員)	マリオートアソシアホテル
3月26日	名古屋芸術大学後援会報第42号発行	
4月4日	入学式参列(2006年度役員:会長、副会長)	西キャンパス
4月14日	2006年度会計監査(2006年度監査2名)	西キャンパス
4月21日	第6回役員会(定期総会準備他)	名古屋駅

<後援会補助公開講座等一覧>

月 日	事業計画	開催場所
5月	「FROM REMISEN」展 後援	西キャンパス
9月	プレーメン・ナゴヤアートプロジェクト2006 後援	ドイツ/プレーメン
10月12日	歌舞伎鑑賞講座 後援	東キャンパス
9月28日	ポーランドの舞曲・チェンバロ 演奏と舞踊後援	東キャンパス
10月	版画公開講座「Pass」展 後援	西キャンパス
10月	DESIGNER'S WEEK IN NAGOYA 参加 後援	名古屋市
1月～2月	「AFTER REMISEN」展 後援	西キャンパス
3月3日	第34回卒業制作展記念講演会 「林真理子氏講演会」後援	愛知芸術文化センター
備考	以上のほかにも、就職活動補助事業、国際交流補助事業、施設・設備補助事業、授業料貸付事業等行いました。	

次 第

1. 開会のことば
2. 会長あいさつ
3. 学長あいさつ
4. 大学関係者紹介
5. 議長選任
6. 議 事
 - (1) 2006年度事業報告承認の件
 - (2) 2006年度会計決算報告承認の件
 - (3) 2006年度会計監査報告
 - (4) 2007年度事業計画案承認の件
 - (5) 2007年度予算案承認の件
 - (6) 2007年度役員改選
7. 旧役員あいさつ
8. 新役員あいさつ
9. 感謝状贈呈
10. 閉会のことば

2007年度 名古屋芸術大学後援会事業計画

月 日	事業内容	開催場所
5月13日	2007年度後援会定期総会事前打合せ 2007年度後援会定期総会	東キャンパス
5月下旬	法人より委託徴収金振替	
5月31日 ～6月5日	イギリス ブライトン大学ディグリーショウ 後援会副会長他大学関係者参加	イギリス
6月上中旬	法人より委託徴収金振替 (両キャンパス前期分)	
6月中下旬	後援会より補助金各学部一括交付	
6月中下旬	第1回役員会(所属委員会決定)	
7月上中旬	第2回役員・委員会 (後援会報編集方針/研修旅行企画)	西キャンパス
9月下旬	名古屋芸術大学後援会報第43号発行	
10月13日 ～14日	後援会研修旅行 1泊2日	島根県
10月28日 予定	第3回役員・委員会(顧問含む) 芸大祭参加	西キャンパス
11月中旬	法人より委託徴収金振替(両キャンパス後期分)	
1月上中旬	第4回役員・委員会(後援会報編集方針)	
2月下旬	第5回役員・委員会(次年度役員案作成)	西キャンパス
3月上旬	ブライトン大学賞表彰式(会長)	
3月下旬	名古屋芸術大学後援会報第44号発行	
3月21日	卒業式参列(会長・副会長(総務委員長))	中京大学文化市民会館
3月21日	謝恩会出席(会長・役員)	マリオートアソシアホテル
4月4日	入学式参列(2007年度会長、副会長)	西キャンパス
4月中旬	2007年度会計監査(2007年度監査2名)	西キャンパス
4月下旬	第6回役員会(定期総会準備他)	
備考	以上のほかにも、後援会後援公開講座、就職活動補助事業、国際交流補助事業、施設・設備補助事業、授業料貸付事業等行う予定です。	

■2006年度 名古屋芸術大学後援会 決算書

1. 一般会計

2006. 4. ~2007. 3. 31 単位：円

収入の部

	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
前年度繰越金	5,060,847	5,060,847	0	
会 費 収 入	23,900,000	24,270,000	-370,000	
受 取 利 息	100	6,982	-6,882	
手数料他収入	150,000	142,210	7,790	任意保険手数料、 雑収入
合 計	29,110,947	29,480,039	-369,092	

支出の部

	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
通 信 費	400,000	441,845	-41,845	
旅 費・交通費	450,000	187,040	262,960	
会 議 費	650,000	386,103	263,897	
事務費・用品費	160,000	140,238	19,762	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	20,000	80,000	
渉 外 費	900,000	650,375	249,625	チケット代、 役員手当て
事務職員人件費	600,000	579,494	20,506	
(総務関係合計)	3,260,000	2,405,095	854,905	
芸大祭補助	2,700,000	2,700,000	0	
クラブ補助	5,099,850	5,000,000	99,850	前年度繰越金含む
就職活動補助	4,043,466	4,031,220	12,246	前年度繰越金含む
謝 恩 会 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	500,000	500,000	0	
国際交流補助	1,020,520	985,845	34,675	前年度繰越金含む
公開講座補助	6,674,102	3,245,096	3,429,006	前年度繰越金含む
施設・設備補助	500,000	385,329	114,671	前年度繰越金含む
学費貸付金資金振替	1,000,000	1,000,000	0	
教員・役員研修費補助	800,000	762,952	37,048	研修費補助金
(事業関係合計)	23,337,938	19,610,442	3,727,496	
広 報 活 動	1,200,000	1,114,880	85,120	広報誌・封筒(大・小)・ 表紙デザイン料
広報誌郵送料	600,000	427,270	172,730	
広報誌手数料	50,000	0	50,000	
(広報関係合計)	1,850,000	1,542,150	307,850	
予 備 費	663,009	0	663,009	
次年度繰越	0	5,922,352	-5,922,352	
総 合 計	29,110,947	29,480,039	-369,092	

2. 特別会計決算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
1	前年度繰越金	4,003,843	4,003,843	0	
2	雑収入	950	1,440	-490	
3	合計	4,004,793	4,005,283	-490	

支出の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
4	特別積立金事業計画	0	0	0	
5	次年度繰越金	4,004,793	4,005,283	-490	
6	合計	4,004,793	4,005,283	-490	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
7	前年度繰越金	6,997,120	6,997,120	0	
8	一般会計より資金繰入	1,000,000	1,000,000	0	
9	学生貸付金返済金	3,500,000	4,967,118	-1,467,118	
10	雑収入	40	4,071	-4,031	
11	合計	11,497,160	12,968,309	-1,471,149	

支出の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
12	学生貸付金	6,000,000	3,673,000	2,327,000	
13	予備費	5,497,160	0	5,497,160	
14	次年度繰越金	0	9,295,309	-9,295,309	
15	合計	11,497,160	12,968,309	-1,471,149	

(3) 福祉基金会計

収入の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
16	前年度繰越金	994,846	994,846	0	
17	雑収入	8	463	-455	
18	合計	994,854	995,309	-455	

支出の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
19	福祉基金事業計画	0	0	0	
20	次年度繰越金	994,854	995,309	-455	
21	合計	994,854	995,309	-455	

(4) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
22	前年度繰越金	2,441,809	2,441,809	0	
23	雑収入	22	1,134	-1,112	
24	合計	2,441,831	2,442,943	-1,112	

支出の部

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異	備考
25	講演会、パンフレット作成	300,000	0	300,000	
26	次年度繰越金	2,141,831	2,442,943	-301,112	
27	合計	2,441,831	2,442,943	-1,112	

■2007年度 名古屋芸術大学後援会 予算書

1. 一般会計

2007. 4. ~2008. 3. 31 単位：円

収入の部

	2007年度 予算額	2006年度 予算額	差 異	備 考
前年度繰越金	5,922,352	5,060,847	861,505	
会 費 収 入	27,000,000	23,900,000	3,100,000	
特別会計より組入	300,000	0	300,000	福祉基金会計からの 資金移動
受 取 利 息	5,000	100	4,900	
手数料他収入	140,000	150,000	-10,000	任意保険手数料
合 計	33,367,352	29,110,947	4,256,405	

支出の部

	2007年度 予算額	2006年度 予算額	差異	備 考
通 信 費	600,000	400,000	200,000	定期総会分増額
旅 費・交通費	400,000	450,000	-50,000	
会 議 費	550,000	650,000	-100,000	
事務費・用品費	200,000	160,000	40,000	振込手数料を含む
弔 慰 費	100,000	100,000	0	
渉 外 費	800,000	900,000	-100,000	チケット代、 役員手当て
事務職員人件費	650,000	600,000	50,000	
(総務関係合計)	3,300,000	3,260,000	40,000	
芸大祭補助	3,200,000	2,700,000	500,000	
クラブ補助	6,299,850	5,099,850	1,200,000	前年度繰越金含む
就職活動補助	4,012,246	4,043,466	-31,220	前年度繰越金含む
謝 恩 会 補 助	1,000,000	1,000,000	0	
学生自治会補助	500,000	500,000	0	
国際交流補助	1,034,675	1,020,520	14,155	前年度繰越金含む
公開講座補助	8,299,006	6,674,102	1,624,904	前年度繰越金含む
施設・設備補助	1,114,671	500,000	614,671	前年度繰越金含む
福祉事業補助	300,000	0	300,000	新規
学費貸付金資金振替	500,000	1,000,000	-500,000	特別会計へ資金移動
教員・役員研修費補助	800,000	800,000	0	研修費補助金
(事業関係合計)	27,060,448	23,337,938	3,722,510	
広 報 活 動	1,400,000	1,200,000	200,000	広報誌・封筒(大・小)
広報誌郵送料	500,000	600,000	-100,000	
広報誌手数料	50,000	50,000	0	アルバイト代
(広報関係合計)	1,950,000	1,850,000	100,000	
予 備 費	1,056,904	663,009	393,895	
総 合 計	33,367,352	29,110,947	4,256,405	

2. 特別会計予算書

(1) 特別積立金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2007年度 予算	2006年度 予算	差 異	備 考
1	前年度繰越金	4,003,843	4,003,843	0	
2	雑 収 入	1,000	950	50	
3	合 計	4,004,843	4,004,793	50	

支出の部

単位：円

	科 目	2007年度 予算	2006年度 予算	差 異	備 考
4	特別積立金事業計画	0	0	0	
5	次年度繰越金	4,004,843	4,004,793	50	
6	合 計	4,004,843	4,004,793	50	

(2) 学費貸付金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2007年度 予算	2006年度 予算	差 異	備 考
7	前年度繰越金	8,710,620	6,697,120	2,013,500	
8	一般会計より資金繰入	500,000	1,000,000	-500,000	
9	学生貸付金返済金	3,500,000	3,500,000	0	
10	雑 収 入	0	40	-40	
11	合 計	12,710,620	11,197,160	1,513,460	

支出の部

単位：円

	科 目	2007年度 予算	2006年度 予算	差 異	備 考
12	学 生 貸 付 金	6,000,000	6,000,000	0	
13	予 備 費	6,710,620	5,197,160	1,513,460	
14	合 計	12,710,620	11,197,160	1,513,460	

(3) 福祉基金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2007年度 予算	2006年度 予算	差 異	備 考
15	前年度繰越金	994,846	994,846	0	
16	雑 収 入	450	8	442	
17	合 計	995,296	994,854	442	

支出の部

単位：円

	科 目	2007年度 予算	2006年度 予算	差 異	備 考
18	一般会計に組入	300,000	0	300,000	福祉事業補助へ組入
19	次年度繰越金	695,296	994,854	-299,558	
20	合 計	995,296	994,854	442	

(4) 学生生活基金会計

収入の部

単位：円

	科 目	2007年度 予算	2006年度 予算	差 異	備 考
21	前年度繰越金	2,441,809	2,441,809	0	
22	雑 収 入	1,000	22	978	
23	合 計	2,442,809	2,441,831	978	

支出の部

単位：円

	科 目	2007年度 予算	2006年度 予算	差 異	備 考
24	講演会、パンフレット作成	300,000	300,000	0	
25	次年度繰越金	2,142,809	2,141,831	978	
26	合 計	2,442,809	2,441,831	978	

■2007年度 名古屋芸術大学後援会 役員・委員一覧

通番	役職名	氏名	学部
1	会長	馬場 達郎	美術学部
2	副会長(総務委員長)	菅 沼 行 生	美術学部
3	副会長(事業委員長)	島 田 加寿子	美術学部
4	副会長(広報委員長)	荒 川 裕 子	美術学部
5	副会長(会計)	加 藤 泉	音楽学部
6	会計監査	中 嶋 一 司	デザイン学部
7	会計監査	大 塚 一 夫	デザイン学部
8	書記	森田 優・和子	美術学部
9	書記	高 木 早 苗	音楽学部
10	会計	破田野 マリ子	音楽学部
11	監事	水 谷 友 彦	音楽学部卒業
12	総務副委員長	山 岸 百合子	美術学部
13	総務副委員長	足 立 葉 子	音楽学部
14	総務委員	平 野 圭	音楽学部
15	総務委員	澤 達 彦	美術学部
16	総務委員	大 竹 百合子	人間発達学部
17	総務委員	渡 邊 好 子	人間発達学部
18	総務委員	石 坂 洋 一	音楽学部

通番	役職名	氏名	学部
19	事業副委員長	中 嶋 知 子	音楽学部
20	事業副委員長	河 村 正 子	人間発達学部
21	事業委員	三 浦 幸 年	音楽学部
22	事業委員	戸 塚 直 子	音楽学部
23	事業委員	三 輪 裕 子	美術学部
24	事業委員	原 田 昌 央	美術学部
25	広報副委員長	遠 山 紗千子	デザイン学部
26	広報副委員長	後 藤 優 子	デザイン学部
27	広報委員	磯 野 正 春	デザイン学部
28	広報委員	山 田 里 美	美術学部
29	広報委員	早 川 英津子	人間発達学部
30	広報委員	松 林 さとみ	音楽学部



議題はすべて賛成多数で承認されました。また、出席者からいくつか質問がありました。「予算書の一部数字が細かすぎるのではないか。」「後援会の役員はどのようにして決定しているのか。」これらについて、「一部予算については前年度繰越金をそのまま通常予算に上乘せして表記しているため。」「後援会役員は、定期総会の時に出席者のみなさんをお願いして申し出を受けたり、それでも不足する場合は事務局からお願いのお電話をさしあげている。」と説明がありました。

最後に役員を退任された方に対して感謝状が贈呈されました。退任された方は、水谷友彦氏、澤井典生氏、柘植久美子氏、中山澄子氏、渡邊一文氏、青木正隆氏の6名です。長年にわたってありがとうございました。

2007年度 教育懇談会及び学生部報告

学生部長 竹本義明

学生部報告

今回の学生部報告は、後援会定期総会終了後に同じ会場で教育懇談会を設け、参加される多くのご父兄より事前に頂いたご意見を参考に、それらに対する回答も含めて、教務、学生生活そして進路・就職について報告を行った。

教務関係について、今年度より半期15週の授業が実施され、相当窮屈な授業展開を強いられる中での新学期となったことについて、今まで以上に学生に対する履修指導を徹底し、休講に対する補講の完全実施に努めることを申し上げた。また、窓口業務へのクレーム等に対する改善は、具体的に職員に対するSD（スタッフ・デベロップメント）に積極的に取り組むことを申し上げ、教員に対するFD（ファカルティー・ディベロップメント）についても同様の説明を行った。

教員免許状取得の教育実習費や学芸員資格取得の博物館実習費について、実習校によって委託金を辞退するところもあり、徴収金額について不要となった金額を差し引いた金額を徴収する方向で対応を行っていることを説明し、あわせて現在の徴収金が適正に支出されていることの報告を行った。

学生生活報告

学生生活関係では、学生相談室への相談件数について報告した。相談は学生及び卒業生そしてご父兄や教職員からのものを合せて、短期大学と大学を合算した数字で、2005年度が374件あり、相談の内容としては、精神衛生に関する部分が44%、対人異性関係が17%、学習上の問題15%、進路就職が11%、その他は家族、アルバイト等の生活上の問題であることを報告した。

他大学と比較し、精神衛生に関する割合が高い理由について、入学後に様々な精神的圧力が加わり不安も増幅する中で、現実には落ち込んでしまう、という状況があるのではないかと申し上げ、今後の対応については、学生相談室をさらに充実させ、また教職員の適切な指導を仰ぎ改善を図ることの説明を行った。

進路・就職関係

本学では就職について年間30回に及ぶ就職・進学講座を実施しており、学生の関心が年々高くなっていると同時に進学・就職率が上がっていることの報告を行った。本学の特徴として、特に芸術系の場合は就職するまで数年の猶予期間が必要であり、一般企業と違い、定期採用が少ないことも認識する必要があることを申し上げた。また、データとしてこの数年の傾向は、一般企業への就職が増え、進学がそれに続く状況であることを報告した。

会場内からの質問について

「授業や単位認定に関連するアカデミック・ハラスメントについて、どのように対応しているのか」という質問があり、現在、大学にハラスメントに関する規程があり、それに基づいて処理がされるようになっていることの説明を行った。いわゆる「セクシュアル・ハラスメント」「パワー・ハラスメント」「アカデミック・ハラスメント」については学生便覧に「名古屋芸術大学ハラスメントに関する規程」として掲載されていることも付け加えて説明を行った。

▶教育懇談会
音楽学部



◀教育懇談会
美術学部



▶教育懇談会
デザイン学部



◀教育懇談会
人間発達学部



名古屋芸術大学近況報告

音楽学部

音楽学部は、演奏学科および音楽文化創造学科の二学科に改編をして3年になります。今回は各学科各コースの演奏活動等を主に紹介します。

【演奏学科】

声楽コースでは、この3月のオペラ公演『カルメン』で初めてイタリアの学術交流協定校のフェラーラ音楽院から2名の学生を招き本学の学生と共演しました。海外の学生とのオペラ公演では恐らく本邦初、名古屋ではもちろん初めての企画だと思われます。観客はこれが学生公演であることを忘れプロの公演であるかのように大きな拍手で絶賛していただきました。名古屋、豊田公演で約3,000名という入場者数も記録し大成功をおさめました。フェラーラ音楽院の学長もイタリアから駆けつけ本学の公演に感嘆の声を上げていました。この公演については後日フェラーラの地元新聞に記事として紹介され、またフェラーラ音楽院の玄関にはこの公演のポスターが今も飾られているとのことです。今年度もまた別の学術交流協定校のイタリア・マルティーニ音楽院から学生を招き本学学生との共演により、プッチーニの名作『ジャニ・スキッキ』を2008年3月14日金山の市民会館で行う予定です。

ピアノコースでは、ピアノを学ぶ学生達へ何が有効的かを研究し、日頃のレッスンでの工夫はいうまでもなく、演奏する機会を増すことで目的と意欲の向上をはかっています。ピアノコース独自の演奏会として、『サマーコンサート』、『室内楽の夕べ』、『コンチェルトの夕べ』、『春のコンサート』等を行っています。また、今年は6月と11月にエヴァ・ポポツカ特別客員教授のブラームスについての公開講座、11月にシューマンの公開講座、2月にはザルトブルグ・モーツァルティウム音楽院の先生方による集中レッスンが行われます。また若いピアニストとして6月に福原彰美さんのリサイタルを行い、9月にはヘルムート・ドイッチ先生による伴奏法の公開講座を予定しています。また、秋には、学生が国際的視野と音楽感覚を広げるためポーランド・ヴィドゴンチ音楽大学へ短期研修を受けに行く予定をしています。

弦管打・バンドディレクターコースでは、名古屋芸術大学ウィンドオーケストラヨーロッパ公演が7月7日から17日までの11日間行われました。今回は、二つの国際的な大会としてアイルランド・キラニーで開催された『WASBE2007（吹奏楽世界会議）』とオーストリア・シュラードミングで開催された『第10回MID・EUROPE（国際吹奏楽祭）』に出演するためでした。特に『WASBE2007』は、日本からは1団体だけ出演でき、今回は日本代表とし

ての出演でした。WASBEでは本学単独のコンサートと新譜紹介を目的とする二つのステージが10、11日の2日間にわたり行なわれ、両日とも多くの観客が訪れ、演奏に対する関心の高さがうかがえました。一方MID・EUROPEは、13日に、やはり本学単独のコンサートを行ない多くの観客が訪れましたが、ここでは最後の演奏が終わると同時にスタンディング・オベーションとなり大変な盛況を見せました。また、オーケストラでは3年前から二つの特別活動をしています。今年は、しらかわホールでスペシャルコンサートとして10月4日に卒業生のピアノ、近県の高校生、学部研究生からヴィオリンのソリストを選出して行ないます。二つ目は3日間に近県のオーケストラ愛好者を募りオーケストラワークショップを開催し、教員はもちろんのこと、今年度はシュトゥットガルト六重奏団の方々を最終日に迎え演奏会を行ないます。昨年は学外から140名、学生60名の200名によるオーケストラとなり大変な盛況でありました。

電子楽器コースは、学生数40数名を擁し毎年演奏会を開催しています。今年は12月12日に熱田文化小劇場において開催する予定です。

【音楽文化創造学科】 2006年6月～現在まで

サウンド・メディア選択コースでは、トーンマイスターとして世界各地で高い評価を得ているエバーハルト・ヒントツ氏(本学特別客員教授)による特別授業を6月16日から18日の3日間にわたって行いました。ヨーロッパのレコード会社において絶大な信頼があるトーンマイスター。このトーンマイスターは、音楽家として、技術者として、そして聴き手としてプロフェッショナルであることが要求されます。サウンド・メディアコース学生は、この特別講義を通じて、クラシック音楽の録音の概念、方法を実際の作業を通じて学びました。

ジャズ・ポップスコース選択コースは、特別客員教授の山下洋輔(ピアノ)、森山威男(ドラムス)による公開講座の他、秋には「ジャズ&ポップス オータムウィーク」として、10月3日及び6日は本学教員とゲストに岡田治郎(ベース)、山下政人(ドラム)を迎え学生とともに録音リハーサルを行いました。10月4日には音川英二(サクソ)をゲストに加えてのドラムス公開講座、10月5日には、山下洋輔による学生バンド指導の講座、12月7日はデュークエリントン楽団トロンボーン奏者、スタッフオード・ハンター氏による公開講座が行われました。

その他に2号館ロビーでのコンサートは、頻繁に行われており演奏能力も向上してきています。2月には今年初めて卒業生を送り出す短期大学部と合同で卒業演奏会を学内ホールで企画・実施しました。

2007年度前半は7月にボストン美術館での演奏、古川美術館に隣接する為三郎記念館での演奏が行われ、関係者より高い評価を頂きました。

ミュージカル選択コースでは、この春、4作目となるオリジナル・ミュージカル「アップルパイは殺しのサイン!？」を上演しました。ミス・ホームズとミス・ポワロという、かなりふざけた二人の探偵が、海辺の高級リゾートホテルで起きた殺人事件を解決するというミュージカル・コメディです。

また5月には、韓国・大邱市で開催された「第1回大邱国際ミュージカル・フェスティバル」に招聘され、「Fairy Tales ～あなたの為の危ない童話集～」を上演させて頂き、幸いにして「銅賞」を頂くことが出来ました。

私たちミュージカルコースのスタッフは、舞台の上で、生き生きと痛快に動き回っている学生たち、研究所のメンバーたちからいつも強烈なエネルギーを投げかけられています。本当に、私たち教員は恵まれていると思います。

音楽ビジネス・ステージマネジメント選択コースでは、新人アーティスト発掘を目的とした自主企画を実施し、新人の養成からデビュー&CD制作（下記）と販売流通のプロセスを学びました。

♪ジャズグループ“チェルシーガーデン”

「オーガニック・ビーツ」（2006年11月16日発売、NUAレーベル）

また、官学協同企画として、小牧市文化振興財団との協同企画として音楽鑑賞講座を開催し、学外での協同企画の実践を学びました。

♪“音のときめき～歌う・奏でる・語る～” in小牧市味噌文化センター講堂（2006年7月1日、8月26日、9月30日、11月11日、12月9日）

また、産学協同企画としてヤマハとクラリネットリサイタルを実践しました。

♪“ザ・クラリネットサプライズ～1st～”

～わたしたちが選んだソリストを世界に！～

（2007年5月27日 名古屋市青少年センター・アートピアホール）

音楽教育選択コースでは、今年も地方の学校（教育現場）へ演奏旅行を実施する予定で、合唱、ソロ演奏をはじめ雅楽、ハンドベルなど多彩なプログラムを準備し、目下練習中です。（兵庫県穴栗市9月5日～7日）また、本コースの雅楽とハンドベルは、近年この地域でかなり注目を集め、雅楽に関しては尾張地区の教員たち約100名が集まる「伝統音楽を勉強する会」において上演の予定です。（8月6日）一方今日、教育現場ではさまざまな楽器の知識が求められることから、8月に大正琴講習会を開催します。

音楽療法選択コースでは、引き続き地域の高齢者、障害児施設にて音楽療法の実践を行っています。今年度からは新たに成人施設（作業所）での音楽療法の実践が加わり、新しい体験にとまどうことはありながらも、学生たち主体で実践とその評価を組み立てています。

また、北名古屋市の回想法センターで音楽の会を企画、実践し、地域の高齢者の方々とのふれあいの機会を持ち、大変好評を得ました。

9月には4年生を対象とした音楽療法士（補）の試験対策合宿を行う予定です。

美術学部

【絵画科洋画コース】

洋画コースは美術学部の改編にあたり、来年度より2つのコースに分けて教育を行う事といたしました。美術界は周知の通り、絵画や彫刻と言った旧来のカテゴリーでは分類が困難な時代となっており、これからその世界に身を投じようとしている学生達のニーズもまた多様となっております。油絵は15世紀に発生した絵画技術です。空間や材質感の表現に卓越した能力を持つ油絵は以後、人間の目で捉えた世界を再現するのに最も適した素材であるが故に西洋世界を席卷してゆきます。その牙城が崩れるのが19世紀です。19世紀は写真の登場・既製絵具によるアトリエからの解放や教育制度の変遷・色彩学の応用等の要因が画家の意識を変えていった時代であり、次の20世紀は絵画から派生した様々な実験や表現が試される時代となっていきます。現実的空間や材質感の再現は一部の画家だけしか必要性が無い時代となり、油絵の新しい可能性が追求される一方、テンペラやフレスコと言った古典画法が復活します。また絵画の世界を飛び出し、自己の表現を模索する動きも活発化してゆきます。

さて長いとは言えない大学の4年間に、このように教育内容の広がった世界を整理し、より充実した教育を行うために2コース制を採用致しました。洋画1は絵画の世界に表現をしばって教育を行うコースです。洋画2は絵画の世界だけにとらわれずに幅広い表現を教育するコースです。入学後プレゼンテーション等を経て1年次の後期から2コースに分かれますがその後の移動にも柔軟性を持たせています。学生も教育も生き物ですから今後も時代に沿って大学も変わる事が必要ですが、学生の意欲を喚起し活気溢れる場である事を第一に考えていきたいと思っています。



【絵画科日本画コース】

フレスコ壁画模写への想い

「夢は抱き続けていれば必ず実現します。」幾度となくこの言葉を高橋久雄先生より頂きました。夢を携え渡り40年、先生は日本人でただ一人のフランス共和国文化省公認壁画修復家として数々の貴重な海外遺産の発掘と修復に貢献されているとともにフレスコ画家として活躍されています。「必ず実現します。」この言葉は私達に気力を漲らせてくれると同時に夢物語を現実の世界へ移行させてくれます。芸術という世界で生きている私達にとって確信をもたらしてくれる先生の生き方は全てが学びです。この先生との出会いから10余年、私達は数々の中世フレスコ壁画を視察する機会に恵まれました。純粋な祈りの気持ちで描

かれた絵画が発する感動の原点を膚でダイレクトに受け、自己の制作について、芸術そのものについて、違った視点から考えられるようになってきました。何世紀もの時代を超えてなお感動を与える確かなものの存在・・・絵を描く原点もここにあるのではと。

今回私達日本画コースでは、そんな祈りの壁画を日本画で模写させて頂ける事となりました。壁には当時の筆跡や爪痕等の作者の息づかい、そして高橋先生の修復をも間近で見られ、様々な要素があふれています。又何よりも教会の一室であり、建物全体から発する独特の雰囲気も絵画の一部として表現する事となります。これら圧倒的な世界にどれだけ近づく事が出来るか・・・。

意識を高く持てば持つ程、深い観察、謙虚な姿勢を要します。教員4名、高橋先生のフレスコ授業アシスタントとして深く関わっている卒業生2名、そして学生6名総勢12名は今年5月から着々と準備を整え、ようやくこの夏休みに現地で実物と対面します。朝昼そして夜も連日2週間、この貴重な体験を感謝の気持ちを込めて模写に取り組んで参ります。相手は堅牢な漆喰の壁、こちらは柔らかな和紙に日本画材の岩絵の具。研究内容は盛沢山です。今まで描いてきた様な制作手順では無理もあるでしょう。各々の癖にも注意が必要、湿度の差もあり膠の取り扱いにも十分な配慮が要ります。頭を悩ませながら、試行錯誤を繰り返しながら、モニュメンタルな世界を、感動の原点を、作者達の息づかいを、そして修復の足跡を全て模写を通して表現していきたいと思っています。「夢は抱き続けていれば必ず実現します。」から。完成は来年9月を予定しています。長丁場ですが現地での壁画との対面が私達に不屈の精神を植え付けてくれる事と確信しています。

私達の模写する壁画はフランス共和国ブルゴーニュ州ソーヌ・エ・ロワール県シャロン・シュール・ソヌ市（フランス中東部）にあるサン・ヴァンサン大聖堂側廊の祭室に描かれた『聖母の御眠り』です。一般には「聖母の死」と言われますが、死んだのではなく被昇天までの3日間眠っていたという説もありここでは「御眠り」とされています。フランスでは作例が少ない秀作です。また、今回モニュメントとしての壁画を強く意識し、アーチ部分も造形科の協力を得て立体的なパネルとし、次年度の展示発表に備え制作を予定しております。

2008年は日仏交流150周年にあたります。この機会にフランスで日本画で描いたフレスコ模写を、日本でフランス

中世の貴重なフレスコ壁画を紹介出来る事も大きな喜びです。発表のみならずフランスにおいては日本画のワークショップ等、文化・美術・教育の場としての交流も検討しております。日本に



▲模写風景

においてもフレスコ画の魅力を多くの人に体験して頂けたらと、メンバー一同さらに夢を膨らませています。

10年前、フランス、ジェルラン村のサン・ピエール教会で各々が15号位の模写をさせて頂いて以来、長年の夢であった大壁画の重厚な作品の模写が今回多くの方のご協力とご支援のお陰で実現致しました。ここに深く感謝申し上げます。私達12名精一杯制作を続けると共に、ここで学んで来た事をより多くの人と共有出来るよう、取り組んでいこうと思っています。

【造形科】

10月から、造形科の新たな教員スタッフに、国際的な発表活動で知られる常滑在住の陶芸作家、吉川正道氏を工芸選択コース〈陶〉担当の教授として迎えることになった。

造形科の教授を勤めていた杉江淳平先生退職の後、後任人事を保留にしていたが、次年度から展開される美術学部一学科多コース制の中に、工芸領域、陶芸コースを新設することに向けての、公募による採用である。デザイン学部も来年度よりブロック内にセラミックデザインコースの新設を予定しており、新教授のアドバイスも期待されることである。

吉川氏は陶芸作家、杉江淳平氏の陶房杉の設立にスタッフとして参加。後に作家として独立、磁器材を活用したユニークな器から建築のための造形まで幅広い。手仕事を基準にしながらも、日常生活から都市環境への造形的展開を志向されて制作している。2005年の中部国際空港内ロビーの大型壁画を中心とした造形は絵画、彫刻、建築的スペースを統合する造形の論理が発揮され、彼の代表作の一つとなっていて海外での評価も高い。

本学は中部地域にあつて、常滑、瀬戸、美濃、滋賀の設楽の大きな陶磁器産業の場に囲まれ、その中心に位置しているとこの役割を積極的に意識して、陶芸、産業界の活性への陶芸研究と人材育成が期待される。

【美術文化学科】

今年も全国各地から（北は岩手から南は高知まで）個性的な学生たちが新たに加わりました。前期には特別客員教授針生一郎先生による特別公開講座を開催しました。第二次世界大戦後の激動の時代を美術と共に批評家として歩んできた先生ならではの視点とで「戦争と美術」について語っていただきました。秋には先生による美術文化学科の学生のためのゼミナールが行われ、多くの刺激を与えてくださることでしょう。前田先生の授業では、名古屋ボストン美術館や北名古屋市の回想法センターと連携したプロジェク



▲壁画実物「聖母の御眠り」

トが行われました。また、愛知県美術館の夏休み子ども鑑賞会では、美術文化学科の学生数名も加わり、進行役として活躍してくれました。後期には芸術環境創造選択コースの3、4年生が中心となって過去の優秀卒業制作を題材にした小企画展覧会が開かれます。(於:G棟ワーキングルーム)

デザイン学部

「やっぱり、プロは仕事が速いなー!」、「ほんとに!」とため息をつきながら机にむかって必死にマーカーで車のスケッチをしている学生。世界の場で活躍しているカー・デザイナー奥山清行氏のワークショップに参加した学生達だ。

本学インダストリアル・デザインコース(プロダクト&スペースブロック)が5月17日~18日の両日、同氏を本学客員教授として招き、学生だけでなく、現役の各自動車メーカーのデザイナーにも参加を呼びかけて行ったワークショップであった。学生達にとってみれば、奥山氏の指導のもとに現役で活躍する各メーカーのデザイナーとも机を並べてのワークショップである。与えられたコンセプトの中から彼らの頭によぎる車のシェイプを素早く描きとめ形にしていく。メーカーのデザイナーのその仕事のスピード、手際よさに学生達は驚いたのだ。担当の片岡祐司准教授も「これは学生にとってまたとない経験になりますよ」と奥山氏とともに学生達の間を見て回る。

また主としてメディア・コミュニケーションブロックの学生に向けて行われる広告表現論(佐藤浩教授担当)では毎年特別講義を行っているが、今年は写真集「RIO DE JANEIRO」などで著名なカメラマンの中道順詩氏、クリエイティブ・ディレクターで、ジャックダニエル、ラコステなどの仕事で知られ、デザイン学生が、最も就職したい会社NO.1である(株)ドラフトの代表取締役でもある宮田 識氏、さらに異色のイラストレーターとして数々の受賞に輝く下谷二助氏を招いた。各講義とも、教室の200以上ある席が溢れるほどに盛況であった。毎回講義のあとに行われるティー・パーティでは、和やかな中に学生の様々な質問と各講師の懇切丁寧な相談、作品の講評などが行われ学生達も真剣な面持ちでうなずいていた。

また、7月6日~11日にアート&デザインセンターで開かれた新任教員展では本年着任した櫃田珠実准教授(メディアコミュニケーション・デザイン)、永井瀧登講師(ヴィジュアル・デザイン)、はじめ2005年度着任の片岡祐司准教授(プロダクト・デザイン)、扇千花准教授(テキスト・デザイン) 駒井貞治講師(スペース・デザイン) 5氏は、美術学部の新任教員(マイケル・シャイナ教授=ガラス、吉本作次教授=洋画)と共に力強い作品を展示した。学生達は会期ぎりぎりまで作品に魅入っていた。

デザイン学部は、今年度より新たに従来の専門コースに加え、メディアコミュニケーションデザイン選択コース(写真・版画を中心にしたメディアデザイン)、セラミック・デザイン選択コースを新設募集したが、両コースとも、す



▲カー・デザイナー奥山清行氏のワークショップに参加

でにコース担当の教員も着任が決まり、来年度(2年次)からそれらのコースを選択する学生の受け入れのための具体的準備がすすめられている。

ある教育が、成果を挙げるには時間がかかるといわれる。本学は、デザインは学部として改編設立以前からも、専門教育への力の入れ方はそのユニークさで評価されてきた。2002年度にあらたにデザイン学部として設立され専門教育の各分野での充実により、より多くの学生が、それぞれの専門職に就職し、社会の一線で活躍し、この地方はもとより、全国的・国際的に活躍している姿が、今年度は、より鮮明になってきたといえる。

尚、冒頭紹介したカー・デザイナー 奥山清行氏による個展が2007年11月3日(土)~20日(火)、名古屋芸術大学西キャンパス アート&デザインセンターで行われる。また展覧会初日の11月3日(土)13時~16時、同氏の講演会が行われる予定である。

人間発達学部

今年度の入学式が4月4日(休)、西キャンパス体育館で行われ、本学部の第1回入学生170名も式に臨みました。また学部としてのオリエンテーションを、5日(木)、6日(金)と2日間実施し、9日(月)より授業を開始しました。順調に授業は展開されていますが、後援会の皆様には、近況として、入学当初に実施したオリエンテーション合宿と総合演習と「自然とくらしを楽しむ会」の活動などを報告いたします。



オリエンテーション合宿

三谷温泉、ホテル「明山荘」にて

4月13日、14日の2日間の日程で、学生が4年間の見通しを立て、意欲的に学ぶ姿勢を培うこと、そして教員と学生、学生同士の親睦を通して、対人関係のとり方を考えることを目的として行われました。

その内容は、「研修1 今、教育・保育の現場に求められるもの」、「研修2 将来の夢を語る」、「研修3 交流会」、「研修4 子どもについて語る」、及び「研修5 4年間の学生生活について」などハードであったが、学生たちも積極的であり、今後の学生生活に活かされることを願っています。



総合演習での見学

ゼミナールのひとつであり、必修科目である「総合演習」は、「子どもを取り巻く環境（自然、人、社会）や文化（伝統、生活）を理解し、それらの中にある様々な今日的課題点とその解決に向けての課題について検証し、様々な課題

が子どもたちの生活や成育にどのように関連しているかを学び、保育者（教育者）として子どもや保護者への援助のあり方の方向性を理解する」ことが趣旨となっている科目であります。このゼミの一環としてこの夏休みの間に、子どもたちの学びと生活の環境を見学して、今日の問題点を知り、その解決へ向けての考察の機会と次なる学習の芽となる諸施設の見学を計画しています。見学の施設は、保育所、幼稚園、小学校、障害児施設、養護施設、フリースクール、子育て支援センター、児童館など15施設であり、保育者（教育者）になるために有益な見学になるものと思っています。

「自然とくらしを楽しむ会」の発足

この会は、総合演習を展開する中で、学生たちが自然体験や生産的な生活体験にあまりにも乏しく、保育者（教育者）として問題であることを痛感された教員の一部が中心となって立ち上げた同好会です。

最初の活動は、東キャンパスの中庭に設置した可動式花鉢の管理とのことですが、こうしたことも初めてという学生が多いとのこと。餅つき器を使ってであるが、餅をつくのも初めて、ほうれん草をゆでるのも初めて……という生活経験の乏しい学生たちであるが、このような会を通じて逞しく成長してくれるものと思っています。

後期からは、教員採用試験などに向けての講習会も実施する予定です。やっと歩き始めた人間発達学部ですが、教員一同頑張るつもりですので、皆様にはあたたかい応援をよろしくお願いいたします。

大学へのお問合せ先一覧

内 容	担当部署	電話番号
学納金(学費)について	庶務会計課	東キャンパス 0568-24-0315 (代) 西キャンパス 0568-24-0325 (代)
休学・退学について 成績について 証明書発行について 課外活動・大学祭等について 教員免許・学芸員資格について 住所変更等について その他学生生活全般について	教務学生課	
就職について 資格取得講座について アルバイトについて	就職課	
本学入試に関すること 本学大学院進学について 本学研究生・研修生について	広報入試課	
交換留学について	国際交流センター（芸術文化交流室）	
生涯学習講座について	生涯学習センター（芸術文化交流室）	
音楽学部主催の演奏会等について	演奏課	東キャンパス 0568-24-5141（直通）
美術学部・デザイン学部の主催する 展覧会について	芸術文化交流室	西キャンパス 0568-24-0325 (代)
アート&デザインセンターについて	アート&デザインセンター（芸術文化交流室）	西キャンパス 0568-24-0325 (代)
後援会について	芸術文化交流室	

大学事務局で保護者の方からのご質問やご相談にお応えする場合、以下のような確認をさせていただく場合があります。特に個人情報が含まれる内容に関しては、ご子女の「学籍番号」の確認、本人の確認、保護者の確認を行った後、ご質問やご相談にお応えします。大学に登録されている情報と異なる場合は、お問合せに応じることができませんので悪しからずご承知おきください。

なお、以上の理由から、連絡先等を変更された場合は、お手数でも変更の手続きをなされますようお願いいたします。変更の手続きが行われなければ本学からのお知らせや成績等をお届けすることができなくなります。

2006年度 卒業式

2007年3月22日(木)、名古屋市民会館（現 中京大学文化市民会館）において、名古屋芸術大学大学院学位授与式並びに名古屋芸術大学・名古屋芸術大学短期大学部の卒業式が執り行われました。

開式の辞に続いて、大学院音楽研究科、美術研究科、デザイン研究科の順に、修了生45名に学位が授与されました。続いて、名古屋芸術大学の第34期の卒業生465名と名古屋芸術大学短期大学部の第39期卒業生230名にそれぞれ卒業証書が授与されました。

榊達雄学長は式辞の中で、「今日の我国の平和と繁栄は賢明なる主権者（国民）の存在によるところが大きい。皆さんもそれぞれ進む道は異なっても、立派な社会人（賢明なる主権者）として目標を持って生きてほしい。」と卒業生を激励されました。また、人間発達学部の新設や既存学部の改編など本学の大学改革内容にも触れ、卒業後も同窓生として大学との関係を保っていただきたいと述べられました。

この後、理事長の挨拶と卒業生による記念品の贈呈があり、卒業式は終了しました。

式典終了後、大学学部及び短期大学部の卒業生成績優秀者の表彰が行われました。



2007年度 入学式

2007年度名古屋芸術大学の入学式が4月4日(水)西キャンパス体育館で行われました。本年度は大学院及び音楽・美術・デザインの3学部と、新設の人間発達学部を含めて756名の新入生が式に臨みました。当日は、満開の桜にもかかわらずいわゆる花冷えの肌寒い日でしたが、午前9時の受付開始と同時に、新入生が家族と共に式場に入りました。開式に先立ち、名古屋芸術大学オーケストラによる演奏（曲目：威風堂々）があり、午前10時から式典が始まりました。

榊学長は入学生・保護者にお祝いの言葉を送ると共に、「大学は知識や技術の修得のみならず人格形成の場でもある。目標達成に向けて地道に持続的に努力することが大切であるが、現実の社会に対して広い視野を持ち、物事を主体的に判断して、自分自身の意見を持つ事が重要である。また、留学生からその国の文化や歴史を学ぶなど、大学を国際交流の場としても活用して欲しい。」と激励されました。

続いて、入学生の代表による宣誓が行われ、大学院総代として、美術研究科美術専攻の小村祐太さんが、学部総代として人間発達学部子ども発達学科の坂井洋介さんがそれぞれ宣誓をしました。その後、理事長の挨拶、来賓の紹介、教員の役職者紹介があり、閉式の言葉で式典は滞りなく終了しました。

式典終了後、入学生を歓迎して、本学オーケストラによる演奏が再び行われました。古谷誠一音楽学部教授の指揮により、ワグナー作曲の「ニュールンベルグのマイスタージンガー」より第一幕への前奏曲が演奏されました。体育館に響き渡るオーケストラの音色は出席者の心に感動を与え、芸術大学ならではの入学式となりました。



2006年度授業評価アンケート 結果報告書作成を終えて

2007年8月

副学長 澤脇達晴

2006年度の授業評価アンケートは例年と同様順調に終了致しました。3年前に始めた当初は、学生諸君にも、また教員側にもとまどいがあったように見受けられましたが、「本学の教育の向上のため」という目的が理解され、スムーズに実行されています。評価される教員側にも教員自身が気付かなかった点や、学生の本音を聞く良い機会として捉えています。しかしアンケートの量が多いため、履修科目数の多い学生にとってはアンケートに答えること自体が大変であったようです。今回はこれらの点を改良すべく集計についての変更を行いました。年に2回の実施に当たって、前期は半期開講科目のみ行うことや、通年科目や実技授業などは後期に行うこととしました。その結果東西キャンパス共若干ですが回収率は向上しました。実施方法等につきましては下記のように行いました。

実施期間について（前期と後期の2回実施）

※前期は2006年6月26日(月)～7月10日(土)までの2週間、半期開講科目のみ実施。

※後期は2006年12月6日(水)～12月20日(水)までの2週間、通年科目と後期開講の全科目について実施。

調査項目について

- 設問1 「既学習感・達成度」（学生自身の「学び感」（習得感）の度合い）
- 設問2 「授業構造」（授業の組み立て）
- 設問3 「授業内容」（授業の分かりやすさ）
- 設問4 「授業内容」（授業の中身とシラバスの一致度）
- 設問5 「授業運営・教員」（授業に対する担当教員の取り組み方・姿勢）
- 設問6 「総合評価」（他の学生に推薦できる授業か）
- 設問7 「授業内容」（授業の意味・重要性の理解）
- 設問8 「授業への学生自身の取り組みかた」（学生自身の学習努力について）
- 設問9 「総合評価」（授業全般に対する総合評価）

本調査の質問表は、学生が率直に回答できるように無記名としてあります。また質問表を簡素化したり、回答の度合いを5段階評価のマークシート方式を採用して答えやすさに努めたり、授業内での実施を前提にするなど、学生・教員・授業への影響が少ないように最大限の配慮を試みました。各学部の回収総数および回収率は次の通りでした。

	学 部	配布総数(枚)	回収総数(枚)	回収率
前 期	音楽学部	4,369	2,850	65.20%
	美術学部・デザイン学部	11,992	4,979	41.49%
後 期	音楽学部	7,613	3,562	46.80%
	美術学部・デザイン学部	11,439	3,769	32.95%

この3年間の結果につきましては、各設問の答えのポイントが高く、全体的に大変良好と捉えることができます。個々の教員の評価につきましては、それぞれに配布していますので各教員において独自に改善なり工夫がなされるものと思っています。

本調査結果は、本学ホームページ「ニュース・トピックス キャンパス情報」に掲載中です。

<http://www.nua.ac.jp/jitdir/j-hyouka/>

またこのアンケート結果に対する教員の感想についても、少し触れておきたいと思います。

- ・1年生は真面目に答えているようだが上級生たちは真剣に答えているようには思えない。（音楽学部）
- ・実技等、対象学生の少ない科目に対して本アンケート結果は参考になるのだろうか。回答の学生のほうが本音を言っているのではないか。（音楽学部）
- ・人数の少ない実技系の授業では学生に直接聞いてみたい。（音楽学部）
- ・配布時にこれによって何が変わるのかという質問があった。（音楽学部）
- ・アンケートの実施期間が短い。携帯対応のWEBフォームにしてはどうか（美術学部）
- ・「面倒くさい、適当にしておいた方がよい」などの学生の反応を見ていると本心をきちんと書いているとは到底思えない。などのコメントがありました。やはりこの評価によって授業の中身が良くなるのかという本質的な質問が学生、教員相互に存在しています。まさにここが焦点であり目的であることを認識し、教員一人一人が努力し改善していかなければならないと考えます。

今や教育界全体に大きな改革の波が押し寄せています。文科省は2004年にすべての大学に第三者評価機関による大学の評価を義務付けました。多くの大学はこれによって相当急激な対応を迫られました。しかしながら教員の授業方法や考え方、設備改善等はそう急には変わりません。昨年私が出席しました大学基準協会の総会の報告を聞くかぎり、この評価の狙いが全国すべての教員に理解されるには相当数の時間が必要ではないかと思われました。各私立大学とも（特に芸術系大学においては）この厳しい学生減にどのように対処するかが一大事であって、それ以上の行動を行う余裕もないのだというのが本音です。

本学においては、前大島学長の指示のもと2005年にこの中部地区でもいち早く対応しました。その結果良好な設備のもとに於いて確実な授業を行っているという高評価の認定を頂きました。この高評価は、本学にとりまして大きな自信となりました。しかしながら学生は毎年変わります。昨年行った授業方法が同じ様に今年も出来るかはわかりません。常に授業の展開、方法には改善が必要であり、我々はこの高評価を常に継続する努力をしなければなりません。改革の第一歩は、この授業評価アンケートの結果を一般論や総論ではなく、教員一人ひとりが学生からの熱い、貴重なメッセージとして、どのように受け止めるかであります。改革は総論ではなく各論であるとも言えます。学生たちからの意見を、授業の展開にどう活用できるかが問われています。このアンケートの集計結果の蓄積が、大学改革の基盤となることは間違いありません。教育界に対して一層の改革をという社会的情勢・要請に応えるためにも、学生の生の声を真摯に受け止め、それらが教員各位の改革の原動力となり、ひいては大学全体の改革に繋がるものと信じています。

最後に、7月東京で開催されました私学協会主催の教育學術充実協議会での話を簡単に紹介します。「学生数の減少から今や日本の大学は全入時代に入り、特段の志望さえ言わなければどこにでも入学できる時代になった。大学のユニバーサル化(大衆化)という現状に、われわれ教員はこれからどのように向き合うべきなのか、これからの大学教育はどうあるべきかを、真剣に議論していかなければならないということでした。」これらの諸問題は一般大学のことだけではなく、本学のように芸術大学においても同じです。今年から教員養成に特化した学部を新設した本学においては、今後とも特色ある大学作りを目指し、魅力ある授業や実技レッスンを展開し、活気溢れる大学にしていかなければなりません。

学生の能力を育て開花させるのが、我々の責務であります。またそれ以上に、より良い社会の一員として育てるということも、我々の大きな教育目標であります。名古屋芸術大学で学んだすべての学生の力が、社会のあらゆる面で発揮されることを願わずにはおられません。本学の教育改革に終りはしないのです。

■2007年度 学生数

<学 部>

2007年5月1日現在

学 部	学 科	1年			2年			3年			4年			合計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
音 楽 学 部	演 奏 学 科	11	80	91	13	87	100	17	98	115	/	/	/	306
	音楽文化創造学科	41	72	113	32	81	113	37	56	93	/	/	/	319
	声 楽 科	/	/	/	/	/	/	/	/	/	7	19	26	26
	器 楽 科	/	/	/	/	/	/	/	/	/	8	56	64	64
	音楽教育学科	/	/	/	/	/	/	/	/	/	6	25	31	31
	音楽文化応用学科	/	/	/	/	/	/	/	/	/	30	34	64	64
	音楽学部小合計	52	152	204	45	168	213	54	154	208	51	134	185	810
美 術 学 部	絵画科 日本画	3	27	30	4	29	33	2	28	30	3	31	34	127
	絵画科 洋画	18	37	55	15	40	55	20	43	63	19	37	56	229
	造 形 科	12	13	25	11	22	33	11	11	22	9	14	23	103
	美術文化学科	3	8	11	2	9	11	3	3	6	4	10	14	42
	美術学部小合計	36	85	121	32	100	132	36	85	121	35	92	127	501
デザイン学部	デザイン学科	49	154	203	51	138	189	59	114	173	61	136	197	762
	デザイン学部小合計	49	154	203	51	138	189	59	114	173	61	136	197	762
人間発達学部	子ども発達学科	52	118	170	/	/	/	/	/	/	/	/	/	170
	子ども発達学科小合計	52	118	170	/	/	/	/	/	/	/	/	/	170
学 部 生 合 計		189	509	698	128	406	534	149	353	502	147	362	509	2,243

<大学院>

研 究 科	1年			2年			合計
	男	女	計	男	女	計	
美 術 研 究 科	7	15	22	7	16	23	45
デザイン研究科	3	5	8	1	2	3	11
音楽研究科	5	6	11	3	10	13	24
大学院生合計	15	26	41	11	28	39	80

総学生数 2,323人

2007年度 年間行事予定表【音楽学部】

月	日	曜日	前期行事予定
4月	2	月	2～4年生オリエンテーション／健康診断
	3	火	
	4	水	
	5	木	
	6	金	
	7	土	
	9	月	
	10	火	
	11	水	
	12	木	
	13	金	
	14	土	
	16	月	
	20	金	
26	木		
29	日		
30	月		
5月	1	火	
	2	水	
	3	木	
	4	金	
	5	土	
6月	16	土	
	18	月	
7月	16	月	
	17	火	
	19	木	
	20	金	
	22	日	
	23	月	
	24	火	
	25	水	
	30	月	
	31	火	
8月	1	水	
	2	木	
	10	金	
	11	土	
	15	水	
	22	水	
	29	水	
	9月	4	火
7		金	
11		火	
13		木	
16		日	
17		月	
20		木	

月	日	曜日	後期行事予定
9月	21	金	
	23	日	
	24	月	
	26	水	
	29	土	
10月	1	月	
	5	金	
	7	日	
	8	月	
	25	木	
	26	金	
	28	日	
	29	月	
11月	3	土	
	10	土	
	11	日	
	19	月	
	22	木	
	23	金	
	30	金	
12月	1	土	
	23	日	
	24	月	
	25	火	
	27	木	
	28	金	
	29	土	
	1	火	
	3	木	
1月	6	日	
	7	月	
	8	火	
	9	水	
	14	月	
	21	月	
	25	金	
	26	土	
	28	月	
	31	木	
2月	1	金	
	2	土	
	5	火	
	6	水	
	11	月	
	12	火	
	15	金	
	18	月	
	19	火	
	22	金	
3月	25	月	
	27	水	
	5	水	
	12	水	
	20	木	
	21	金	
	22	土	
	25	火	
	27	木	
	28	金	

【注意】

- ※1、※2……前期（7月23日、7月24日）については、授業担当教員より個別に指示がありますので従ってください。なお、夏季音楽講習会担当の先生は授業がありません。
- ※3 ※4……後期（1月8日、1月9日）については、月曜日の授業2回です。（1月8日、1月9日）については、授業担当教員より個別に指示がありますので従ってください。

2007年度 年間行事予定表【美術学部・デザイン学部】

月	日	曜日	前期行事予定	
4月	2	月		
	3	火	デザイン学科オリエンテーション(2~4年生)	
	4	水	入学式	
	5	木	新生オリエンテーション	
	6	金	新入生健康診断	
	7	土	新入生歓迎会	
	9	月	授業開始	
	13	金	履修登録締切	
	18	水	履修登録確認票配布	
	19	木	前期履修確認変更修正期間	
	20	金	履修登録訂正締切 最終日締切 13:00	
	29	日	昭和の日	
	30	月	振替休日	
5月	1	火	開学記念日	
	2	水	臨時休業	
	3	木	憲法記念日	
	4	金	国民の休日	
	5	土	こどもの日	
6月	16	土	オープンキャンパス 入門編 通常授業日	
7月	14	土	オープンキャンパス 体験編 通常授業日	
	16	月	海の日	
	25	水	前期学科試験期間 前期授業終了	
	30	月		
	31	火		
8月	1	水	学科試験予備日・夏季休業開始	
	2	木	前期集中講義期間	
	3	金	前期集中講義期間	
	6	月		
	10	金		
	22	水	成績伝票提出締切(教員)、AO入試(デザイン学部)	
	29	水	13時より前期試験成績発表	
9月	4	火	前期追再試験期間	
	7	金		
	11	火	追再試成績伝票提出締切(教員)	
	13	木	13時より前期追再試験成績発表	
	15	土	AO入試(美術学部)	
	16	日	オープンキャンパス進学編	
	17	月	敬老の日	
	20	木	夏季休業終了	

月	日	曜日	後期行事予定	
9月	21	金	後期授業開始 後期履修登録表配付	
	23	日	秋分の日	
	24	月	振替休日	
	26	水	後期履修変更修正期間 最終日締切 13:00	
	27	木		
	28	金		
10月	8	月	体育の日	
	25	木	授業終了後 芸大祭準備	
	26	金	芸大祭	
	27	土		
	28	日		
	29	月	芸大祭片付け(全日休講)	
11月	4	日	推薦・社会人・シニア入試	
	23	木	学院創立記念日	
	22	金	勤労感謝の日	
12月	2	日	3年編入・転科転コース入試	
	8	土	地域入試(浜松)	
	23	日	天皇誕生日	
	24	月	振替休日	
	25	火	後期補講・集中講義期間	
	28	木	冬季一斉休業期間	
	29	土		
	31	月		
1月	1	火	元旦	
	3	木	▼	
	7	月	後期授業再開	
	8	火	※1 月曜日授業実施(火曜日の授業は行わない)	
	9	水	※2 月曜日授業実施(水曜日の授業は行わない)	
	14	月	成人の日	
	26	土	後期学科試験期間 後期授業終了	
	28	月		
	31	木		
2月	1	金	試験予備日	
	2	土		
	4	月	A日程入試(デザイン学部)	
	5	火		
	6	水	A日程入試(美術学部)	
	11	月	建国記念日	
	12	火	成績伝票提出締切(教員)	
	15	金	13時より後期学科試験成績発表	
	19	火	後期追再試験期間 地域入試(東京) 研究生研修生入試	
	21	木		
	22	金		
	25	月	追再試成績伝票提出締切(教員)	
	27	木	13時より後期追再試験成績発表	
3月	5	水	卒業判定会議	
	12	水	進級判定会議	
	17	月	B日程入試(美術学部)~18日	
	18	火	B日程入試(デザイン学部)	
	20	木	春分の日	
	21	金	卒業式	
	22	土	春季休業開始	
	27	木	新2~4年生オリエンテーション	
	28	金		

【注意】

※1、2……後期1月8日、9日については、月曜日の授業2回です。
担当教員より個別に指示がありますので従ってください。

2007年度 年間行事予定表【人間発達学部】

月	日	曜日	前期行事予定	
4月	2	月		
	3	火		
	4	水	入学式	
	5	木	新生生オリエンテーション／健康診断	
	6	金		
	7	土	▼ 新生歓迎会 午後～	
	9	月	授業開始	
	10	火		
	11	水		
	12	木		
	13	金	オリエンテーション合宿	
	14	土	オリエンテーション合宿	
16	月	履修登録票提出締切 16時迄		
20	金	履修確認票配付		
26	木	履修登録訂正締切 16時迄		
29	日	昭和の日		
30	月	振替休日		
5月	1	火	開学記念日	
	2	水	臨時休業	
	3	木	憲法記念日	
	4	金	みどりの日	
	5	土	こどもの日	
6月	16	土	オープンキャンパス	
	16	月	海の日	
7月	17	火		
	19	木		
	20	金		
	22	日	オープンキャンパス	
	23	月		
	24	火		
	25	水	前期学科試験期間	
	30	月	前期授業終了	
	31	火	▼	
	8月	1	水	前期試験予備日／夏季休業開始
2		木	前期補講・集中講義期間	
10		金	▼	
11		土	一斉休業	
15		水	▼	
22		水	成績伝票提出締切(教員)	
25		土	オープンキャンパス	
29		水	前期試験成績発表 13時～	
9月		4	火	前期追再試験期間
		7	金	▼
	11	火	追再試験成績伝票提出締切(教員)	
	13	木	前期追再試験成績発表 13時～	
	17	月	敬老の日	
	18	火	人間発達学部・後期オリエンテーション	
	20	木	夏季休業終了	

月	日	曜日	後期行事予定	
9月	21	金	後期授業開始	
	23	日	秋分の日	
	24	月	振替休日	
	26	水	履修登録票提出締切 16時迄	
	29	土	オープンキャンパス	
10月	1	月	履修確認票配付	
	5	金	履修確認訂正締切 16時迄	
	7	日		
	8	月	体育の日	
	25	木	芸大祭準備 授業終了後～	
	26	金	芸大祭	
	28	日	▼	
	29	月	芸大祭後片づけ	
11月	3	土	文化の日 推薦A入試	
	4	日	推薦A入試	
	11	日		
	19	月		
	22	木	学院創立記念日	
	23	金	勤労感謝の日	
12月	2	日	推薦B入試	
	23	日	天皇誕生日	
	24	月	振替休日	
	25	火	冬季休業開始 後期補講・集中講義期間	
	27	木	▼	
	28	金	▼	
	29	土	冬季一斉休業	
	30	日		
	31	月		
	1月	1	火	元旦
		2	水	
3		木	▼	
6		日	冬季休業終了	
7		月	後期授業再開	
8		火	※3 月曜日授業実施(火曜日・水曜日の授業は行わない)	
9		水	※4 月曜日授業実施(火曜日・水曜日の授業は行わない)	
14		月	成人の日	
26		土	後期学科試験期間	
28		月	後期授業終了	
2月	1	金	▼	
	2	土	後期試験予備日／一般A日程入試	
	3	日	一般A日程入試	
	11	月	建国記念日	
	12	火	成績伝票提出締切(教員)	
	15	金	成績発表 13時～	
	18	月	2/4～2/8、2/18～2/22 後期補講・集中講義期間	
	19	火	後期追再試験期間	
	22	金	▼	
	25	月	追再試験成績伝票提出締切(教員)	
	27	水	後期追再試験成績発表 13時～	
	3月	1	土	一般B日程入試
		12	水	進級判定会議
		20	木	春分の日
21		金	卒業式	
22		土	春季休業開始	
27		木		
28		金	新2～4年生オリエンテーション(予定)	

【注意】

※3 ※4……後期(1月8日、1月9日)については、月曜日の授業2回です。(1月8日、1月9日)については、授業担当教員より個別に指示がありますので従ってください。

就 職 セ ミ ナ ー の 紹 介



学生一人ひとりの将来の夢や希望を尊重し、教員と連携をとりながら全員が希望通りの就職・進学ができるように支援を行っています。

また、社会情勢にあわせた就職活動の基本的な事項の周知と意識を高めることを目的とし、きめ細やかな就職支援についての対策を両大学の委員会とともに検討し実施しています。気軽に利用してください。

※就職課では学年にかかわらず将来の進路について相談をすることができます。

2007年度 美術学部・デザイン学部 就職ガイダンス等 予定表

月	内 容	対 象
4月	就職活動オリエンテーション（4年生）	美術学部・デザイン学部
	就職活動オリエンテーション（3年生）	美術学部・デザイン学部
	就職支援・資格取得講座事前説明会	講座受講希望者
5月	教員採用試験に関するオリエンテーション	希望者
	インターンシップに関するオリエンテーション	インターンシップ希望者
6月	就職ガイダンス（就職活動の流れ・進路調査①）	美術学部・デザイン学部
	就職ガイダンス（就職活動の流れ・進路調査②）	美術学部・デザイン学部
7月	就職ガイダンス（就職適性・自己分析テストの実施）	美術学部・デザイン学部
	インターンシップ事前研修（ビジネスマナー研修）	インターンシップ参加者
8月	各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者
9月	インターンシップの実施	インターンシップ参加者
	就職ガイダンス（就職活動の進め方・就職ナビの活用）	美術学部・デザイン学部
10月	インターンシップ事後研修	インターンシップ参加者
	就職ガイダンス（エントリーシートの書き方、就職活動におけるマナー・ルール）	美術学部・デザイン学部
	クリエイティブ系就職ガイダンス（クリエイティブを活かして働く）	美術学部・デザイン学部
	就職ガイダンス（エントリーシート攻略テスト）	美術学部・デザイン学部
11月	就職ガイダンス（適性試験対策）	美術学部・デザイン学部
	クリエイティブ系就職ガイダンス（ポートフォリオのまとめ方）	美術学部・デザイン学部
	就職ガイダンス（面接試験対策）	美術学部・デザイン学部
12月	就職ガイダンス（SPI模擬試験）	美術学部・デザイン学部
1月～3月	各種就職支援講座・資格取得講座の実施	講座受講者

※ 予定は変更・追加になる場合があります。日時は掲示等で確認してください。
 ※ 各種就職支援講座・資格取得講座は上表日程以外でも実施予定の講座があります。

2007年度 就職・進学対策行事予定表

音楽学部3年生

月	日	曜	限	教室	講座内容	対象
4	26	木	4	11-101	カワイ音楽講師採用・グレード試験学内説明会	
5	17	木	4	1-702	教員採用試験説明会	音楽学部3・4年
	24	木	4	2-中アン	ヤマハグレード試験・システム講師・PMS講師学内説明会	音楽学部
	後日指定				音楽関係企業説明会（音楽講師を除く）	音楽学部3・4年
6	7	木	4	1-701	第1回就職ガイダンス	音楽学部3年
	14	木	4	1-701	キャリアガイダンス～卒業後の進路について～	音楽学部3・4年・短音2年
	21	木	4	1-702	第2回就職ガイダンス（作文対策講座①）	音楽学部3・4年 短大部2年
	28	木	4・5	1-405 他	キャリアガイダンス～グループディスカッション講座～	音楽学部3・4年・短音2年
7	2～7	月～土	—	自宅	論作文添削	音楽学部3・4年 短大部2年
	11	水	5	1-702	就職模擬試験（一般常識①） ※いずれか1日	音楽学部3年
	13	金	5	1-702		
9	26	水	5	1-702	自己分析（CAREER APPROACH） ※いずれか1日	音楽学部3年
	27	木	4	1-702	第3回就職ガイダンス（作文対策講座②）	音楽学部3年
	28	金	5	1-702	自己分析（CAREER APPROACH） ※いずれか1日	音楽学部3年
10	11	木	4	1-702	公務員採用試験説明会（行政職・警察官・消防士）	音楽学部3年
	18	木	4	1-702	キャリアガイダンス～業界・職業研究～	音楽学部3・4年・短音2年
	31	水	5	1-702	就職模擬試験（一般常識②） ※いずれか1日	音楽学部3年
11	1	木	4	1-702	第4回就職ガイダンス（作文対策講座③）	音楽学部3年
	2	金	5	1-702	就職模擬試験（一般常識②） ※いずれか1日	音楽学部3年
	8	木	4	1-702	第5回就職ガイダンス（マナー講座／電話&訪問）	音楽学部3年
	14	水	5	1-405	就職模擬試験（SP I試験） ※いずれか1日	音楽学部3年
	15	木	4	1-702	自己分析の解説	音楽学部3年
	16	金	5	1-405	就職模擬試験（SP I試験） ※いずれか1日	音楽学部3年
	29	木	4	1-702	第6回就職ガイダンス（履歴書・エントリーシートの書き方）	音楽学部3年
12	6	木	4	1-702	第7回就職ガイダンス（手紙の書き方講座）	音楽学部3年
	13	木	4・5	1-702	キャリアガイダンス～面接対策講座～	音楽学部3年
	20	木	4	1-702	第8回就職ガイダンス（作文対策講座④）	音楽学部3年
1	10	木	4	1-701	第9回就職ガイダンス（春休みの就職活動）	音楽学部3年
	後日指定	—	—	自宅	就職模擬試験（第1回教員採用試験模擬試験）	音楽学部3・4年・短音2年

※ 上記日程・講座内容は変更・追加することがあります。教室変更等に注意してください。

音楽学部4年・短大部2年生

月	日	曜	限	教室	講座内容	対象
4	2	月	15:30	1-401	名古屋芸術大学音楽学部編入学説明会（オリエンテーション内）	音楽科2年
	9～21	月～土	—	自宅	論作文添削①	全員
	12	木	5	1-405	愛知県警察官・音楽隊説明会	希望者
	9～19	月～木	—	自宅	学内就職模擬試験（第2回教員採用試験模擬試験）	音楽学部4年・短音2年
	17～20	火～金	—	1-7F	就職用写真撮影 ※いずれか1日	全員
			木	4	11-101	カワイ音楽講師採用・グレード試験学内説明会
5	7～17	月～木	—	自宅	就職模擬試験（第3回教員採用試験模擬試験）	音楽学部4年・短音2年
	7～12	月～土	—	自宅	論作文添削②	全員
	10	木	4	1-702	第14回就職ガイダンス（面接対策講座No. 2 総まとめ）	全員
	17	木	4	1-702	教員採用試験学内説明会	音楽学部3・4年・短音2年
			5	1-702	愛知県教員採用試験説明会	音楽学部4年・短大2年
			5	1-405	名古屋市教員採用試験説明会	音楽学部4年・短大2年
	24	木	4	2-中アン	ヤマハグレード試験・システム講師・PMS講師学内説明会	音楽学部・音楽科（全学年）
後日指定				音楽関係企業説明会（音楽講師を除く）	音楽学部3・4年 短音2年	
6	4～9	月～土	—	自宅	論作文添削③	全員
	14	木	4	1-701	キャリアガイダンス～卒業後の進路について～	音楽学部3・4年・短音2年
			4・5	1-405 他	キャリアガイダンス～グループディスカッション講座～	音楽学部3・4年・短音2年
7	2～7	月～土	—	自宅	論作文添削④	全員
	5	木	4	1-702	第15回就職ガイダンス（マナー講座No. 2 総まとめ）	全員
	12	木	4	1-702	第16回夏期休業期間中の就職活動について	音楽学部4年・短音2年
11	後日指定				講師登録説明会（講演会予定）	全員

※ 上記講座内容は変更・追加することがあります。教室変更等に注意してください。

親の想い

新たなスタート

人間発達学部 子ども発達学科1年
母 大竹百合子

今年の4月、名古屋芸術大学に息子が入学させていただきました。本当に感謝しております。

息子は21才。昔から小さい子が大好きで近所の児童館などにボランティアにもよく行っています。夢は小学校の先生になる事でした。でも3年前高校より推薦していただいて行った大学は本人の希望の学部ではありませんでした。当時は毎朝起こすのにも一苦労していました。そして一年過ぎた頃、本人より大学をやめたいと言われました。家族で話し合いもしましたが、あとは本人にまかせました。そしてフリーターになり一年半が過ぎた頃、新聞で名古屋芸術大学の子ども発

達学科開設の記事を見つけました。息子にぴったりの学科でした。息子とオープンキャンパスに行き、そして受験。また一からのやり直しでした。合格の通知をいただいた時の息子の笑顔、また私の心の重荷も取れた思いでした。二回目の大学生です。新しい気持ちでスタートしたいと親子で入学式に出席させていただきました。学校見学にも行き大学の先生方の温かさを肌で感じる事が出来嬉しく思いました。今息子は毎日起こす苦労もなく大学に通っています。友達も出来、サークルにも入っているようです。

長い人生、この回り道が生きた糧となるように心から願っています。そして大学四年間を無事に楽しく過ごして欲しいと思っています。夢に向かって進む息子と共に、私も事ある毎に名古屋芸術大学の行事に足を運ぼうと思います。これからも宜しくお願い致します。

徳重の地にご縁ありよろしく・・・

美術学部 絵画科 洋画コース1年
父 澤 達彦

4月4日まだ肌寒い西キャンパス体育館にて入学式が厳粛な雰囲気で開催され、わが娘が名芸の1年生に入った初日の感激が、まだ昨日のこのように思い出されます。

幕明けの本学音楽学部オーケストラによるワグナーの「威風堂々」は、身震いするくらい底力があって、かつ暖かい響きが伝わってきました。緑の中庭を白亜のキャンパスが囲む、たいへん綺麗な大学との印象でした。

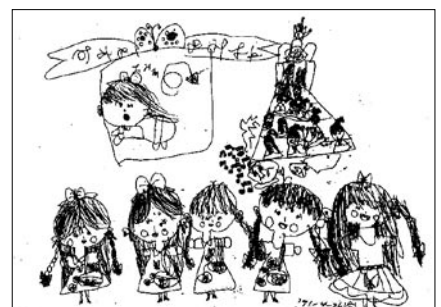
私の娘も昨年の寄稿者の方と同じく、二浪を経て入学いたしました。1年目は東京の予備校で、最初は大学生の兄のアパートに同居して、その後北区の女子学生会館に入り、電車で通っていましたが、初めての一人暮らしで体調を崩して、生活のペースをつかめず、予備校での実技も十分できなかったようでした。2年目は千種区の予備校へ親元から通わせ、今年がラストチャンスだと言いつけてきただけに、こんなすばらし

い大学に入学できて感激もひとしおでした。

娘は、2歳上の兄と6歳下の弟に挟まれて、小さいころから一人で遊ぶことが多い子でした。母親が病院の病棟看護師だったので、勤務の日には、私が面倒をみていたこともあり、過保護なのかもしれません。

母の帰りを待つ間に、広告紙の裏にペンとサインペンで絵を書いて遊ぶことが好きで、毎日というくらい、絵本やテレビの主人公、また自らの体験（写真左＝弟が誕生した産院の様子）や保育園での出来事の印象（写真右＝ひなまつり会）など4歳児にしては周密な描写をしていました。

小さいころに絵がうまいと言われた子がそのまま大成するわけではありませんが、彼女の自由奔放な筆致が、今後4年間の本学の自由な校風のなかで、家庭的で暖かな教職員のみなさんのご指導により、研鑽され、大きく育っていったらいいのにと願う親バカの一人です。



子の想い

私と学生生活

音楽学部 声楽科 オペラ選択コース 4年

原西美由紀

もともと歌が好きだった私は看護師の正社員を数年経験した後、一大奮起して名古屋芸術大学に入学することを決めました。

入学後は、勉強と看護師のパートを両立しながら自分の生活を作ってきました。入学前に想像していた以上に体力的に大変だったり、練習時間の確保ができなかったり、思うようにいかないことも多かったのですが、それでも自分の好きな音楽を学べるという喜びを胸に、一生懸命がんばってきました。

この限られた状況の中でも、楽しく充実した学生生活を送れているのは、たくさんの人に支えられているからだと思います。

特に、病院のスタッフのみなさんには、感謝してもしきれないくらいお世話になっています。実技テスト前など学業が忙しいときには、嫌な顔ひとつせず、勤務日程を無理やり調整してくださったり、心配しているいろと声をかけてくださったりしてくれました。そんなスタッフみんなの顔を見ると、元気がもらえました。

それから、年上の私を暖かく迎えてくれた同級生のみんなにも感謝しています。イベント行事の後みんなワイワイ食事したこと、忙しくて断ることも多いのに必ず何かあると私を誘ってくれたこと等、いろんな思い出をつくってくれました。中でも2年生の時の「バステイエンとバステイエンヌ」公演は印象深く、みんなで一つの芸術作品を作り上げることの大変さ、辛さ、そして完成したときの喜びを初めて味わうことができました。

そして声楽のレッスンでは、実践的で分かりやすい指導をしてくださり、先生には本当に感謝しております。そのおかげで歌が成長でき、歌の楽しさや、表現の大切さを知ることができました。早いもので大学生活も残り半年となつてしまいましたが、悔いの残らないように過ごしていきたいと思います。



私と大学

人間発達学部 子ども発達学科 1年

渡邊 成子

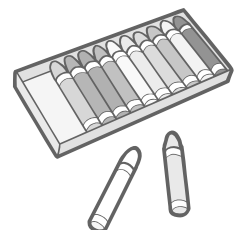
私は幼稚園の頃から絵が好きで、小学校3年生の頃から日本画・水墨画などの絵を習い始めました。また歌にも興味があり、4年生から合唱部に入り色々なコンサートや大会に出場させて頂き、音楽のすばらしさを学ばせて頂きました。

中学生になってからは部活が盛んでなかった為、新しく出来た美術学部に入ることになり油絵・デッサンを始めました。そうした中、将来の夢に悩んでいる時に先生よりサマーボランティアに参加してみても勧められ、保育園のボランティアに行くことになりました。朝から夕方まで保育士さんのお手伝いをさせて頂き、とても大変な仕事だと感じました。でも、子供達とふれあうことが出来、とても有意義なボランティア活動を行うことが出来ました。

高校は昔から吹奏楽部に入りたかった為、吹奏楽部のある高校を探し、入部しました。また、色々なコンサートや大会に出場させて頂き、たくさんの人と関わることが出来ました。海外での招待演奏では数々の演奏会を通し、海外にも友人をつくる事が出来、音楽のすばらしさは世界共通なのだと感じました。

そして、私は色々なことを体験して、芸術を通して子供と関わる仕事がしたいと考えるようになりました。このようなことを考える中、大学を探していたところ、名古屋芸術大学という、芸術をとて身近に感じられ、子供についても学べる事が出来る大学があることを知り、この名古屋芸術大学に入学することになりました。

現在では、考えていた以上に子供の心理などとても難しい授業もありますが、音楽を使って子供を教育する授業なども受け、たいへん楽しい大学生活を送っています。



先輩の活躍



勤めております

2003年度 デザイン学科
ライフスタイル選択コース 卒業
岡本達也

私が勤める(株)金印わさび名古屋は日本を代表する食材「わさび」の加工・販売を行う会社です。「わさび」といわれても？だと思いますが、スーパー、コンビニ商品に添付してある「わさび」、飲食店で使われる「わさび」、ご家庭で食べられる「わさび」など、様々な用途、ニーズに対応する商品を扱っています。

勤めて4年目になります。私の所属は、原料資材係（購買部門）です。その中で商品包装資材の設計開発・パッケージデザイン作成を主な業務としています。また展示会・販売促進物・新聞広告等の作成、原料



の受入れ、棚卸まで様々な内容です。

美術系大学を卒業し食品会社へ勤める事は、なかなか想像がつかない様にも感じます。私の場合は、卒業研究で「食」を題材に

「今日の私たちの食とその認識」をライフスタイル・デザインとして考察し、ヴィジュアルブックとして編集しました。その事が就職のきっかけですが、やはり仕事は考察だけでは回りません。主には業務のパッケージデザイン、外部デザイナーとのやり取り、社内での申請など、日々が葛藤です。大学時代に積み重ねてきた考え方、方法も一企業のしがらみの中では通用しない事ばかりです。営業、製造の現場からの現実的な注文にいつも悩まされます。ただ、私にも三年間の経験ができ、大学時代に学んだことがようやく役立ち始めたかと感じる今日です。

近頃「自分が興味ある大きな方向性の中にある事の大切さ」を考えます。私の場合は、上司にアドバイスをもらいながら畑仕事を始めてみたり、料理を始めてみたりと少しずつですが今の環境のなかで、自然と導かれる事をやっています。食品業界は食について興味のある人ばかりです。その点、勉強になります。確かに「仕事でパッケージを作る事」と「生活の上で食について学ぶ事」は違います。でも、私にとってはどちらも同じ事で1つのテーマの延長です。そんな事を考え自分なりのライフワークを見つけたいと思い日々生活しています。

(株)金印わさび名古屋 勤務)

大切に育ててもらっている日々

2006年度 美術学部
美術文化学科 卒業
柳 百合子

必死の勉強の末に勝ち取った新聞社の事業局という職場。ここには、想像以上に充実した毎日が保証されていました。

中日新聞社の事業局は、美術展やスポーツ、社会貢献など、地域に根差した様々なイベントを行います。この夏ポートメッセなごやで開催される「恐竜大陸」や名古屋市科学館の「ザリガニワールド」、名古屋市美術館のダリ展、将棋の王位戦、大相撲名古屋場所。これらは、私が事業局に配属されてから研修を行った現場です。これほど幅広い分野に渡る新聞社の事業。毎日が新しい発見の連続で、今ほど一日を短く感じたことはありません。

今、私は大相撲名古屋場所で現場研修の真っ最中です。大きな声での挨拶、キビキビとした動き。礼儀と格式を重んじる世界で、社会人としての基本中の基本

を学んでいます。

現場に入って二日目の午後、お客様から落としものの連絡を頂きました。亡くなったお母様の、大切な写真。見つからなければ仕方ないと言いつつも、その方の表情は切なくなるほど寂しげでした。何がなんでも見つけ出さなければならぬ。人でごった返した場内を走り回って担当者を探し、無事見つかったとの連絡が入った時は心の底からホッとしました。

私は、美術展を企画することを夢見てこの会社に入りました。ただ、新人の今は、新聞に載らない現場の小さな出来事やドラマを、体で覚えていくことが大切だと思います。そんな体験の一つひとつが、本当に来場者の立場に立った企画へと繋がるのだと信じています。

誰かの笑顔が最高のごほうび。ありきたりな言い回しのように、実際にイベントに関わる仕事してみると心からそう感じます。責任を持って自分の企画を実現させ、たくさんの来場者を笑顔にする。そんな事業ウーマンを目指して、今後も精進の日々です。

(中日新聞社 勤務)



音楽で仕事に

2006年度 音楽文化応用学科
音楽ビジネス選択コース 卒業
宮崎則匡

私は学生時代、音楽に携わる仕事に就きたいと思っていました。そしてその願いはかない現在、河合楽器製作所で働いています。ご存じとは思いますが、河合楽器ではピアノ作りを軸に様々な事業を展開しており、その中で私は音楽系事務職として主に音楽教室関係の仕事をしています。業務内容は音楽教室で教えている講師をサポートして、より快適な教育環境を提供することや、また講師のスキルアップのための講座などを運営することにあります。しかし、入社して間もない私にできることは少なく、先輩に同行して仕事を少しでも早く覚えなければなりません。

音楽教室に関する業務は年間のスケジュールに沿って行われるものが多く、今現在行っている業務をしつかりと修得しないと、次に同じ業務を行う機会は翌年になってしまいます。また同時に半年以上先のことも考えながら働かなければならなく、スケジュール管理

も重要なことであると感じています。

現在の職場には同期の仲間はいません。全国に展開している企業なので仕方がないことではあるのですが、友人もない関西に配属され最初はとても不安に感じていました。ところが幸いなことに同じ業務を担当する先輩と年齢が近かったこと、上司が入社試験時の試験官だったこともあり、不安も少し解消されました。また、会社の主催する発表会やコンクールにスタッフとして現場に出た際、出演する子どもたちが楽しそうに演奏する姿を見たとき、自分が音楽教室に携わっていることにやりがいを感じると同時に早く一人前に仕事ができるように頑張らなければと感じています。

私はまだまだ知識も仕事をこなす量も半人前ですが、1日でも早く業務を覚えなければならないと思います。そのためには与えられた仕事に対して真剣に取り組むことはもちろん、業務一つひとつについて、意味をよく考え理解していかなければならないと考えています。

そして、音楽愛好家がさらに増えるきっかけになっていきたいと思っています。

(株)河合楽器製作所 関西支社勤務

やりがいとやさしさと

2006年度 音楽文化応用学科
音楽療法選択コース 卒業
青木文子

私はこの4月から有料老人ホームで介護職員として働いています。福祉に関心があり、音楽療法を通して学んだことを活かしたいと選んだ職種でしたが、はじめは「有料老人ホーム」ってどんな所だろう、介護のことなどほとんど勉強していないし、経験も実習程度しかない私がちゃんと働けるのだろうかと不安だらけでした。しかし、実際に働いてみて、先輩職員の方々に教えていただいて、入居者の方と接していくうちに不安は解消されていきました。もちろん全てではありませんし、まだまだ勉強しなければと思うことも多々あります。

例えば病気のこと。今まで病気のことは大学の授業で少しふれただけだったので分からない事ばかり。それでも入居者の行動・言動には病気の症状が大きく関わっていることが多い為、病気を理解していないと、その入居者を理解できないこともあります。初めの頃は看護師や先輩職員に頼ってばかりでも、2ヶ月もすれば自分で対応しなければならぬことも出てきます。不安で焦る私を支えてくれているのは、接して

いる入居者の方々です。いろいろなことを教えてください、時には冗談を言って笑い飛ばしてくれたりして気持ちを楽にしてくれます。身体的にも精神的にも大変なことが多い仕事ですが、やっぱり楽しいし、やりがいを感じる仕事です。ほんの些細なことでも嬉しいと感じることのできる仕事です。やっつけて良かったと思える仕事です。

しかし、そうも言えないこともあります。有料老人ホームは「終いの住処」とも言われています。入居して亡くなる方もいるのです。いつも元気だから大丈夫、この方はしっかりしている方だから安心、はっきりとそう言える方たちではないのです。初めて入居者の死を目の当たりにしたとき、先輩職員から「いつ亡くなってもおかしくない人たちがばかりなのだから、そういう覚悟も必要。だからこそ、入居者様にたくさん笑顔でいて頂けるようなサービスをしたいよね」と言われました。まだまだ不慣れで、さまざまな病気や不安を抱えた入居者に対して、どうやって対応したらいいか迷うこともたくさんあります。入居者が言いたいこと、伝えたいことが分からず気持ちが焦ることもあります。それでも、日々、入居者のことを第一に考えて行動し、毎日笑顔を忘れないでいようと思って頑張っています。

(守山ケアコミュニティそよ風 勤務)

ブライトン大学 ディグリーショー

University of Brighton
Degree Show

後援会長 馬場達郎

今年は6月1日、2日の両日イギリス・ブライトン大学ディグリーショーが開催され、大学からデザイン学部長の溝口教授と国際交流センター長の大崎正裕教授、後援会から私馬場達郎が両先生に連れられ「名古屋芸術大学賞」を授与して参りました。ブライトン大学はイギリスの南端にあるリゾート地にある大学で歴史も古い国立大学です。名古屋芸術大学は、芸術・デザイン学部と、学術文化交流を結びました。以来、教師や学生の交流だけでなく卒業制作展に各大学賞の交換を行っています。5月31日大韓航空便で中部国際空港出発、ソウル経由で午後5時頃ロンドンヒースロウ空港に到着。河野英一ブライトン大学教授の出迎えを受け、宿泊先のヒルトン・ブライトン・メトロプール・ホテルへヒースロウ空港からブライトン行きのバスに乗り、2時間バスに揺られ、羊や馬がのどかに牧草を食べている郊外の風景を楽しみながらホテルに向かいました。21時ホテル到着。

6月1日(金) 晴れ。イギリスの朝は気分良く早く目が覚め、ホテルの前の海岸を少し散歩しました。午前10時頃ブライトン大学到着。大学スタッフのジェズ・ウィルソンさんの案内でディグリーショーのノミネートされた50数点の作品を担当教員の説明を受けながら詳しく見て、午後1時頃から歓迎レセプションに出席しました。3時頃より大崎教授、溝口教授の学生作品の審査も終了、表彰者も決まりました。1等賞1点3名、2等1点1名、3等2点2名、佳作8点8名、合計12点14名の表彰者。私の仕事は表彰状に名古屋芸術大学後援会会長のサインをする事でした。表彰式パトビルとカーデنز、韓国の賞に続いて、溝口教授の英文のスピーチがとても迫力がありました。特設された舞台で、多くの人見守る中入賞者に賞状・賞金・副賞を渡し、大きな拍手を贈りました。どの作品も大作で先生方も審査に苦勞されたようですが、受賞されたみなさんにおいてはこれからも一段と活躍が期待されるでしょう。



6月2日(土) 晴れ。バスに乗って、ブライトン大学関係者とディグリーショーに招かれた客人がブライトン郊外のもと貴族の館で会いました。サウス・ロッジに向かい、広い庭のベンチで歓談。河野教授、ブルース前学部長、アン部長、前日の表彰式での話しに花が咲いたが、一旦ホテルに戻りました。土曜日のせいかブライトン海岸では人々でにぎわっていました。再び大学へ戻ると、出品された学生のファッションショー作品をプロのモデルが着用して発表するファッションショーが開催されました。とても学生の作品とは思えない、プロのショーみたいな感じがしました。天候にも恵まれ、とても良い交流でした。

2007年度ブライトン大学ディグリーショーに参加して、国際交流センター担当生駒様、溝口教授、大崎教授、それにブライトン大学の河野教授には色々とお世話になりました。ありがとうございました。

◆2007年度 名古屋芸術大学賞受賞者一覧

賞	副賞 (奨学金)	科・コース	氏名
1等賞	400ポンド	Architecture	Karl Singaporewala Louise Knights Jonathan Tally (a group project)
2等賞	300ポンド	Graphic Design	Alex Bec
3等賞	150ポンド	Editorial Photography	Murray Ballard
3等賞	150ポンド	Fine Art Painting	Claire Dorsett
佳作	風鈴	Interior Architecture	Robert Rowley
佳作	風鈴	Editorial Photography	Harley Kilban
佳作	風鈴	Fashion Design with Business Studies	Solveig Jacobson
佳作	風鈴	Fine Art Painting	Siro Carraro
佳作	風鈴	Digital Music	Maria Papadomanolaki
佳作	風鈴	Fine Art Sculpture	Jo Guile
佳作	風鈴	Fine Art Printmaking	Annika Reed
佳作	風鈴	Illustration	David Wilson



▲1等賞のみなさんとともに

ディジョン便り

～フランス ディジョン美術大学 留学レポート～

絵画科洋画コース3年 市川瑞希

2006年10月

私は本学に留学で来ていたセシルと仲良くなり、彼女の家で共同生活している。毎日「生活」することに精一杯で絵を描く余裕が無い。毎週火曜日はコンフォーションの日。これは生徒が作品についてプレゼンをする場である。みんな自分の作品について本当によく考えていて、喋りも達者。他の生徒もどんどん意見している。10月の終わりにはイギリスに行き、そこに留学中の友人達との久しぶりの再会は本当に嬉しかった。ロンドンの美術館、世界遺産巡りもとても刺激的だった。

11月

もう一人の本学からの留学生がディジョンに到着した。日本人がいるのが心強く、日本語を話せるのが嬉しい。渡仏して1ヵ月が過ぎ、生活にも慣れてきてやっと絵が描けるようになって来た。毎日のようにドローイングをしている。先生との二者面談が月1、2回あって、今後の制作について話してアドバイスを貰ったりしている。クラスの人にも積極的に自分の作品をみせたり、みせてもらったりして、作品についている意見交換するのがすごく良い刺激になっている。美術館巡りもたくさんしてこっちでの生活の何もかもが私の制作の源になっている。



12月

12月になってディジョンの街もイルミネーションがとても綺麗。クリスマスはセシルの実家で過ごした。フランスのクリスマスは日本のお正月のようなもので、家族で過ごすのが一般的ようだ。セシルの家族には本当に親切にしてもらい、本当に素敵な体験が出来た。沢山の美味しいワインと食事。胃がフル稼働のクリスマスだった。



1月

1月の終わりにピロンという大きな試験があった。持ち時間一人30分から45分で、試験官の先生達は4人。作品のコンセプトについてとにかく語らなければいけない。その試験のための準備がすごく大変だった。留学生だったので大目に見てくれたのもあったが、しっかりこなすことが出来たと思う。

ディジョンにも雪が降ったがその雪ももう溶けて、最近少し暖かい日が続いている。セシルとの共同生活は、難しいこともあるがうまくやっている。日本で彼女に出会えていなかったら、私のフランス語はこんなに上達しなかった。彼女と喋りたい一心でここまで勉強してきた。渡仏前、毎日7時間勉強していた。フランス語で友達と喋っている自分が不思議に思えるときもあるが、残りの日々で絵だけでなくフランス語ももっと頑張りたいと思う。

大きい試験が終わり、びりびりムードだった学校もいつもの雰囲気を取り戻している。私も試験が終わって少しのんびりムードで毎日の学校や生活を楽しんでいる。東洋人だからなのか理由はよく分からないが買い物した際よくお釣りをごまかされる。買い物する度、お釣りをしっかり確認するようになった。



2月

長い休みを使い旅行に行った。南仏に行ったのだが、同じフランスでもディジョンとは違うところが多い。特に感じたのは人々がとても暖かかったことだ。2月の真冬の時期だったにも関わらず、昼間は長袖一枚で過ごすことが出来た。気候の暖かさと南仏独特の開放感が、陽気で暖かい人々をつくりだしているのかも知れない。精力的に色々な所をまわった。素敵な人達との出会いもあった。10月当初150円だったユーロも、2月の時点で158円まで上がり、物価がどんどん高くなっていったのは辛かった。

3月

帰国準備で忙しい日々が続く中、セシル達がお別れ会を開いてくれた。留学にあたり親や友人をはじめ沢山の人の支えがあった。日本にいたら出来ないであろう貴重な体験をたくさんした。辛いこともたくさんあったが、全てが私の宝物だ。フランスに行くことにより日本の素晴らしさを実感することも出来た。日本に帰って来てからどれだけ制作を頑張れるか、私の中での自分自身との勝負だ。

来学交換留学生たち



イギリス
ブライトン大学
スーザン・デイヴィス
さん



イギリス
ブライトン大学
ヘンリー・プロクター
さん



イギリス
ブライトン大学
エリザベス・トーマス
さん



イギリス
ブライトン大学
ルーシー・ファーレイ
さん



イギリス
ファルマス芸術大学
エリザベス・パーキン
ソンさん



イギリス
ファルマス芸術大学
モーリ・メイン さん



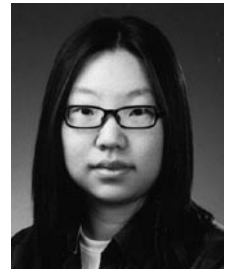
韓国
慶南大学校
朴 廷祐 さん



韓国
慶南大学校
成 貞伊 さん



韓国
慶南大学校
崔 景 さん



韓国
龍仁大学
李 アルム さん



韓国
龍仁大学
沈 佼珠 さん



フランス
ディジョン美術大学
ドードゥマン・エミリ
アン さん



イタリア
ヌオーヴァ美術大学
ボソーニ・アリス・ア
ンジェラ さん



ドイツ
ブレーメン芸術大学
リューディガー・ハー
ン さん

外国の提携大学に留学する派遣交換留学生たち

	留 学 先	氏 名	学 科・学 年
1	ヌオーヴァ・アカデミア大学 (イタリア)	柳原 美希	美術文化学科4年
2	ファルマス芸術大学 (イギリス)	井上 由香	大学院美術研究科1年
3	ブライトン大学 (イギリス)	佐藤 里奈	デザイン学科ビジュアルデザイン選択 コース3年

クラブ紹介

	クラブ名	活 動 内 容	活動場所
1	ピンポン☆DASH	卓球を通して、体力、集中力の増進を目指し、学生生活に生かす。	東キャンパス
2	ミュージックボランティア	大学の授業の実習以外での音楽・音楽療法活動を行う。	
3	ジャズ研究会	楽器によるジャズセッションを行う。	
4	フラワーショット	テニスを通じ、他学科、他学年との交流を深める。心身を鍛えテニスを楽しみ人間的にも成長する。	
5	フットサル	普段の学生生活の中ではあまり経験できないフットサル(サッカー)(チームプレー)を通じて、他の学科、学部の人などと交流を深め、自己を高めていく。	
6	ジャンバスウィングオーケストラ	BIGBANDの演奏を通してよりよい音楽感を身につけ、感性豊かな人間形成を目標とする。たま、団体行動の中で個々の協調性を養う。	
7	KARADA 研究所	筋力と体力と精神力をつける事によって、声楽やピアノ、ミュージカルなどに必要な身体能力を養う。	
8	黒 一 色	卓上ゲームを学び伝統的ある卓上競技で人との接触や人間としての性質や交友関係を深め大学内においての結束や人間関係の向上、また、大会などでの団結力の向上を計る。	
9	ルーディメンツクラブ*	名芸のドラマーの技術向上。苦しい練習でもみんなでやれば楽しくなるをモットーに集団練習。マーチング楽器等で発表する場を設け、練習意欲を高めていきたい。	
10	爆 音 楽 部*	月1~2回程 ライブを行う。野外音楽フェスティバル出演が最終目標。	
11	バドミントン部*	バドミントンを通じて体力作りを行う。	
12	名古屋芸大陸上部*	陸上競技のいろいろな種目を楽しみ、陸上競技のことをあまり知らない人たちに陸上競技の良さを知ってもらおう。	
13	タッチフット*	タッチフット、ソフトバレー等を通じ、友情を深める。	
14	ソフトテニスクラブ*	ソフトテニスをみんなで楽しみ、初心者の方もみんなで教え合いながら練習し、市の大会などに自分たちで出場する。また、他大学との交流試合や大会へも参加したい。	
15	自然とくらしを楽しむ会*	自然をカラダで感じたい！伝承遊びを伝えたい！伝承行事・伝承料理・昔ながらのお菓子などを作りみんなに伝えたい！そして大学の行事を支えたい！	
16	リズム体操部*	ラート、Gボールを用いてバランス感覚を養い、また、幼児体操ではリズム感を身に付ける事を目的とする。	
17	ゴスペルサークル*	堅苦しい音楽に囚われず、自由に表現し楽しく歌を歌う。歌う方も聞く方も楽しめる音楽を作り出すことを目標とする。	
18	和太鼓部*	保育園・幼稚園の夏祭りや学祭、オープンキャンパスなどで演奏をするための練習を目的とし活動する。	
19	tennisub	テニスを通じて、精神、体力を鍛え、交流の場を広げる。	
20	ゴンススキー部	スキーを楽しみながら、スキーに必要な体力を身につける。また、団体生活を通して団結力を深め、社会に必要な礼儀を身につける。	
21	着付け部	着付けを通して、日本に古くから伝わる美とその精神を学びとる。	
22	郷土文化研究部	郷土資料の研究を通じ、我々の精神のルーツを再認識し、豊かな感性と確かな知性を身に付ける。また、共に作業を行うことで、友情を深め、切磋琢磨していくことを目的とする。	
23	空手部	空手を通して、心身の鍛錬及び護衛術の体得。豊富な器材を使つての筋トレ、体作り。	
24	バドミントン部	バドミントンを通して、運動不足を解消し、健康な体作りを目指す。また、学部の枠を越えた人付き合いも目指す。	
25	サッカー部	サッカー部のモットーは「両立」。大学生活を、心身ともに、より充実した生活を送れる様に、サッカーを通して、たくさん笑い、楽しんで、より勉学に励むことを目的とし、共に成長し合えるように活動したい。	
26	女子バレーボール部	バレーを通じ、健康な身体と精神を育む。また、学部、学科を越えた交流を通じて、高い人間性を目指す。そして、主に年2度の大会での勝利を目標に、楽しく、且つ、一生懸命に皆で取り組む。	
27	動画漫画研究部	動画や漫画の制作を通して、自己表現の枠を広げる。	
28	写真部	写真技術の向上と写真表現の研究。写真部員同士による、写真と美術、デザインに対する関わりの研究。	
29	自由音楽部	自由に音楽を楽しむことを目的とし、クラブや野外でのイベント、演奏、パフォーマンスをするため、日々練習をしている。音楽で空間や気持ちを盛り上げ、自由な音を発信する部活。	
30	軽音部	音楽を通じて異なる学科との交流を深め、学校行事に積極的に参加し、大学生活の充実を図っている。活動内容は、それぞれのグループに分かれてバンド活動を行い、楽器などの上達や、人との交流を深めている。	
31	卓球部	卓球大会に向けて、誰でも卓球はを楽しめるから、皆で楽しむため。	
32	陶芸部	粘土を使って、物作りの楽しさや難しさを知ってもらい、作ったものを自分で使用したり、芸祭で売ったりする。	
33	サマータイムブルース(野球)	部員が、好きな野球を通して、運動のみならず、勝利というものを意識して、お互いが励ましあい、支え合い、協調性や気配りなど、人間として、社会に出ても活躍できる人格の土台作りの場を作るため。	
34	自然研究部(ファニシング)	創造する行為を通して、普段何気なく感じていたことを、違う視点から捉えることによって、新しい発見や感性を磨き、創造力を養っていく。	
35	剣道部	剣道を通しての人間形成。	
36	版画部	版画の普及、版画を選択していない学生に体験をしてもらう。	
37	バスケットボール部	楽しい学校生活を送るため。心身の健康を保つため。他学年との交流を図るため。	
38	バレーボール部	バレーボールの練習、試合。体を動かして、良い人間関係をつくる。	
39	演劇部	演劇を通して、自己の表現力の幅を広げると共に、団体で一つのことをする難しさを学ぶことを目的とする。	
40	レーシング部	レーシングを通して、仲間たちとの交流、技術と心身の向上を目指す。	
41	フォークギター部	ギターを通して友達との交流を図り、ギターの上達と人間的成長を高める。	
42	ストリートダンス部	ダンスをする事で、体を動かし健康的になり、ダンスで自己表現をして、皆で楽しむ。皆で一つのショーを作り上げることで学年の壁をなくして楽しむ。学祭を僕等のダンスで盛り上げたい。	
43	m & m ' s	映画を通して外国の言語や文化に触れ合い、皆と交流する。	
44	映像美術研究 movie's	映像作品の制作、上映、公募展等への出品。また、映像を通して色々な分野での幅を広げる。	

注：* 印は新規同好会です

2007(平成19)年度 名古屋芸術大学音楽学部主催による演奏会案内

(※予定につき変更になる場合がありますので、事前にご確認ください。)

2007

6 June

第1回 国際交流教員コンサート ～名古屋芸術大学と慶南大校～

曲目/F.メンデルスゾーン：ピアノ三重奏曲第1番より他
出演/李 根和 (Br) 他
日時/6月21日(木) PM3:00開演
会場/名古屋芸術大学3号館音楽講堂ホール
入場料/無料

7 July

第9回ピアノコンチェルトの夕べ

指揮/古谷 誠一
管弦楽/名古屋芸術大学オーケストラ
曲目/E.グリーグ：ピアノ協奏曲イ短調 他
日時/7月19日(木) PM6:30開演
会場/しらかわホール
入場料/無料

第2回 国際交流教員コンサート ～名古屋芸術大学とリスト音楽院～

曲目/F.シューベルト：ピアノ五重奏曲「ます」他
出演/ファルヴァイ・シャンドール 他
日時/7月31日(火) PM6:45開演
会場/しらかわホール
入場料/1500円

8 August

第9回 ピアノ・サマーコンサート

日時/8月4日(土) PM5:30開演
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料

9 September

名古屋芸術大学ウインドオーケストラ 第26回 定期演奏会

指揮/ヤン・ヴァンニデルロースト
竹内 雅一
曲目/O.レスピーギ(木村吉宏編曲)：
ローマの祭他
日時/9月27日(木) PM6:30開演
会場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入場料/1000円

10 October

名古屋芸術大学スペシャルコンサート ～コンチェルトの夕べ～

指揮/古谷 誠一
管弦楽/名古屋芸術大学オーケストラ
日時/10月4日(木) PM6:30開演
会場/しらかわホール
入場料/無料

研究生特別演奏会

日時/10月25日(木) PM6:00開演
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料

11 November

第15回 ピアノの夕べ

日時/11月8日(木) PM5:30開演
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料

第30回 定期演奏会

日時/11月15日(木) PM6:00開演
会場/しらかわホール
入場料/無料

名古屋芸術大学オーケストラ 第25回 定期演奏会

指揮/古谷 誠一
曲目/G.ヴェルディ：レクイエム
独唱/笛田 博昭 (T) 他
合唱/名古屋市民コーラス(賛助)
日時/11月29日(木) PM6:45開演
会場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入場料/1000円

12 December

電子楽器コース演奏会

日時/12月12日(木) PM6:30開演
会場/熱田文化小劇場
入場料/無料

第26回 室内楽の夕べ

日時/12月13日(木) PM6:00開演予定
12月14日(金) PM6:00開演予定
会場/熱田文化小劇場
入場料/無料

平成19年度 音楽企画(5) “ザ・ルネッサンス21”

指揮/未定
管弦楽/セントラル愛知交響楽団
日時/12月20日(木) PM6:30開演
会場/しらかわホール
入場料/1000円

2008

2 February

卒業生によるピアノ演奏会

日時/2月1日(金) PM6:00開演
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料

第6回 歌曲の夕べ

日時/2月8日(金) PM6:30開演
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料

平成19年度 研究生修了演奏会

日時/2月14日(木) PM6:00開演
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料

大学院音楽研究科特別演奏会

日時/2月15日(金) PM6:00開演
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料

アンサンブル・フィラルモニク・ア・ヴァン 第9回 定期演奏会

指揮/ヤン・ヴァンニデルロースト
小野川 昭博
日時/2月22日(金) PM6:30開演
会場/愛知県芸術劇場コンサートホール
入場料/1000円

第12回 春のコンサートピアノのしらべ

日時/2月23日(土) PM5:30開演
会場/電気文化会館ザ・コンサートホール
入場料/無料

第35回 卒業演奏会

日時/2月29日(金) PM6:00開演
3月1日(土) PM6:00開演
会場/しらかわホール
入場料/無料

3 March

大学院音楽研究科 第10回 修了演奏会

指揮/濱津 清仁
管弦楽/コレギウム・アカデミカ(名古屋
芸術大学の教員を主体に編成され
たオーケストラ)
日時/3月4日(火) PM6:30開演
3月5日(水) PM6:30開演
3月6日(木) PM6:30開演
会場/しらかわホール
入場料/無料

第30回 オペラ公演「ジャンニ・スキッキ」

演出/Dario Ponissi(ダリオ・ポニッスイ)
指揮/古谷 誠一
管弦楽/名古屋芸術大学オーケストラ
日時/3月14日(金) PM6:30開演
会場/中京大学文化市民会館 大ホール
入場料/指定席(1階)1500円
自由席(2階)1000円

ミュージカル公演 「Girls～ブロードウェイの魔女たち～」

脚本・演出/森泉 博行
音楽/井上 堯之、長谷川 雅大
振付/名倉 加代子
指揮/竹内 雅一
日時/3月27日(木) PM6:30開演
3月28日(金) PM4:00開演
会場/名古屋市芸術創造センターホール
入場料/1000円

●お問い合わせは●

名古屋芸術大学音楽学部 演奏課

〒481-8503

愛知県北名古屋市熊之庄古井281
TEL (0568) 24-5141(直)・0315(代)

アート&デザインセンター 2007/2008 展覧会スケジュール

2007		
会 期	展 覧 会 名	内 容
4月4日(水)~4月11日(水)	デザイン科選抜レビュー展	デザイン全体
4月13日(金)~4月18日(水)	佐藤浩「SCRAPLAND」展	グラフィックデザイン
4月20日(金)~4月25日(水)	写真部展(写真部2)	写真部学生
4月20日(金)~4月25日(水)	歩展(デザインTD)	デザイン学部学生
4月20日(金)~4月25日(水)	0.3展(デザインTD)	デザイン学部学生
4月27日(金)~5月9日(水)	Masquerade(デザインMMD)	デザイン学部学生
4月27日(金)~5月9日(水)	たとえば(デザインCD)	デザイン学部学生
5月11日(金)~5月16日(水)	小原朋世展(美術洋画)	洋画コース学生
5月11日(金)~5月16日(水)	『あすみるゆめのみ』展(美術洋画)	洋画コース学生
5月18日(金)~5月23日(水)	分析写真展(写真部1)	写真部学生
5月18日(金)~5月23日(水)	peace nine(美術版画)	学生
5月25日(金)~5月30日(水)	tane.(デザインID)	デザイン学部学生
5月25日(金)~5月30日(水)	本当の話(美術洋画)	洋画コース学生
5月8日(火)~5月30日(水)	Karen Degett + Regis Rizzo滞在制作	
6月1日(金)~6月13日(水)	FROM REMISEN #9 Karen Degett + Regis Rizzo	絵画ほか
6月15日(金)~6月20日(水)	書道演習作品展	書道作品
6月22日(金)~7月4日(水)	since	同時代表現研究
7月6日(金)~7月11日(水)	名古屋芸術大学新任教員展	教員
7月13日(金)~7月18日(水)	前期交換留学生作品展	留学生
7月20日(金)~7月25日(水)	素材。展	デザイン学部学生
7月26日(木)~9月7日(金)	夏期休館	
9月8日(土)~9月14日(金)	吉本作次展	洋画新作展
9月16日(日)	あいち子ども芸術大学2007「文化芸術体験講座」 ~黒板家族を作ろう	こどもワークショップ
9月21日(金)~9月26日(水)	ソフトスカルプチャー展 VII ~れんこん	造形選択コース
9月28日(金)~10月3日(水)	造形科彫塑選択コース作品展	彫塑選択コース
10月5日(金)~10月17日(水)	境界から見えるもの(洋画コース)	洋画コース学生
10月19日(金)~10月24日(水)	ウェアラブル・テキスタイル展	テキスタイル
10月26日(金)~10月31日(水)	版の方法論 #4	版画
10月26日(金)~10月31日(水)	「見せ物」展(デザインと文化)	デザイン学部学生
10月26日(金)~10月31日(水)	メダル・コンペ選抜展	メダル
11月3日(土)~11月20日(火)	企画展(デザイン) フェラーリから鉄瓶まで/日本とイタリアのものづくり	2007年度客員教授 奥山清行デザインワーク展
11月24日(土)~11月28日(水)	洋画大学院+教員展	洋画コース
11月30日(金)~12月5日(水)	幼稚園児たちのゲイジツ展	クリエ幼稚園
12月7日(金)~12月12日(水)	後期交換留学生作品展	留学生
12月14日(金)~12月19日(水)	工芸選択コース作品展	工芸選択コース
12月20日(木)~12月21日(金)	ID/SD卒展審査/プレ展示1	デザイン学部
12月23日(日)~1月6日(日)	冬期休館	
2008		
1月7日(月)~1月11日(金)	日本画3年生作品展	日本画コース
1月15日(火)~1月19日(土)	JAGDA新人賞受賞作家作品展2007	デザイン
1月21日(月)~1月25日(金)	大学院論文等審査試験	大学院
1月25日(金)~1月26日(土)	ID/SD卒展審査/プレ展示2	デザイン学部
1月29日(火)~2月8日(金)	AFTER REMISEN #9 近藤千鶴+早川知加子	版画
2月9日(土)~2月9日(土)	版画選択コース卒業制作最終審査	版画選択コース
2月12日(火)~2月16日(土)	大学院研究報告会	大学院
2月19日(火)~2月23日(土)	大学院研究報告会	大学院
2月26日(火)~3月2日(日)	名古屋芸術大学卒業制作展(予定)	美術学部・デザイン学部4年

◎スケジュールは変更になる場合がありますので、事前の確認をお願いいたします。

Art & Design Center 

名古屋芸術大学アート&デザインセンター 〒481-8535 北名古屋市徳重西沼65番地 tel.0568-24-0325 fax.0568-24-0326

後援会授業料貸付事業

世間では景気がよくなっているといわれますが、なかなか庶民はそれを実感することができません。このような中で決して安いとは言えない芸術系大学の授業料は、家計を直撃しているのではないかと思います。こうした状況の中で、保護者が亡くなられたり病気になられたり、失業された家庭は、ひどく大変だと思います。このような家庭の学生諸君の少しでも助けになればと考えて始められたのが、後援会の授業料貸付事業です。1993年にこの事業が始まってから、現在までに60数名の学生がこの事業の恩恵を受けています。

後援会員の皆さんが納められた会費を、この事業の基金としているため、むずかしい条件がついていますが、次の貸付規程を読まれて、後援会の授業料貸付事業を活用していただけたらと思います。申込受付窓口は、各キャンパス教務学生課となっています。気楽に相談してみてください。

名古屋芸術大学後援会学費資金等の貸付規程

(目的)

第1条 名古屋芸術大学後援会（以下「後援会」という。）が行う学生の福利厚生事業の一環として、家計急変等により学費の納入が困難な学生に対し、後援会が学費を貸し付けることにより修学を援助することを目的とする。

(定義)

第2条 この規程により学費の貸付を受ける者を、名古屋芸術大学後援会学費貸与生（以下「貸与生」という。）と称する。貸付する学費を名古屋芸術大学後援会貸付金とする。

(資金)

第3条 学費貸付金は次の資金をもってこれにあてる。

- (1) 後援会学費貸付口座預金
- (2) この規程に基づく返還金
- (3) 寄付金・その他の収入

(貸付額)

第4条 該当学年の学生納付金半期分以内とする。

- 2 貸付金は無利息とする。
- 3 未返済金がある者に対しては、貸し増しは行わない。

(貸付方法)

第5条 学費貸付は、大学授業料口座への振込みによって行う。

(審議)

第6条 貸与生及び貸付額の決定に関しては、学生部長が大学の全学教務学生委員会の審議を経て、後援会会長に推薦する。

(貸与生の決定)

第7条 貸与生の決定は、後援会会長が行なう。

(貸与生の選考基準)

第8条 貸与生の選考基準は、以下に基づいて選考する。

- (1) 1年以上継続した本会会員の子弟であること。
- (2) 家計急変等のため本学に修学することが、特に困難であること。
- (3) 応募者の属する世帯の1年間の総所得金額が独立行政法人日本学生支援機構の収入基準以下であること。
- (4) 修学に十分耐うるものと認められること。

(申請手続)

第9条 学費貸付を希望するものは、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

なお、手続は学生部教務学生課を窓口とする。

(1) 後援会貸付金借用願

(2) 貸付金返済計画書

(3) 学費貸付希望者の所属する学科長の推薦書

(4) 学費貸付希望者の属する世帯の1年間の総所得金額を証明する書類。

(借用手続・借用証書)

第10条 学費貸付決定者は、次に掲げる書類を後援会会長に提出しなければならない。

- (1) 借用証書（借用願と同じ保証人および連帯保証人の連署を要する）
- (2) 貸付金返済計画書に基づく同意書
- (3) 銀行口座振替依頼書（自動送金サービス用）（学籍を離れる時に提出するものとする）

(返還及期間)

第11条 貸付金は、学籍を離れてから3年以内で返還しなければならない。ただし、借用願出の際に虚偽の記載があった時は、直ちに返済するものとする。

- 2 返還方法は、一括返済または元金均等割とする。
- 3 貸付金の返還は、いつでも繰り上げて返還することができる。
- 4 返還は、学生部教務学生課を窓口とする。

(返還猶予)

第12条 貸与生が傷病・その他やむを得ない事由によって返還猶予を願い出たときは、相当と認める期間猶予することができる。

(権限委任)

第13条 この規程に基づく学費貸付金の貸付手続き及び返済收受等の一切の権限を学長に委任するものとする。なお、この規程で疑義が生じたときは、会長と学長が協議のうえ決定する。

(改廃)

第14条 この規程の改廃は、後援会の総会の議を経て会長が行なう。

附則

- 1 この規程は昭和61年7月1日から適用する。
- 2 この規程は昭和63年4月1日から適用する。
- 3 この改正規程は平成16年4月1日から適用する。
- 4 この改正規程は2005年(平成17年)4月1日から適用する。

名古屋芸術大学後援会会則

- 第1条 本会は名古屋芸術大学後援会（以下「本会」という）と称し、事務局は名古屋芸術大学内におく。
- 第2条 本会は名古屋芸術大学の教育方針に基づき、大学諸活動の後援を目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
 (1) 学生の課外活動への援助と学生の福利厚生に関する援助。
 (2) 大学の正常な運営への寄与と、保護者の希望を大学に反映させる活動。
 (3) その他本会の目的達成に必要と認める事業。
- 第4条 本会は名古屋芸術大学学生の保護者または、これに代わる者及び役員会が認めた本学卒業生の保護者をもって組織する。
- 第5条 本会に次の役員をおく。
 会長1名、副会長4名、監事1名、会計監査2名、書記2名、会計1名
- 第6条 本会の役員選出は次の方法による。
 (1) 役員は総会において会員の中から選出する。
 (2) 役員の任期は1カ年とする。但し再任は妨げない。
- 第7条 本会役員の任期は次のとおりとする。
 (1) 会長は会務を統括し、副会長は会長を補佐、会長事故ある時はその代理をする。
 (2) 監事は会務を監査する。
 (3) 書記、会計は会長に委嘱された会務を行う。
- 第8条 本会の会議は総会、役員会とし、議長はその都度選出する。
- 第9条 定期総会は原則として年1回、5月に会長が招集する。必要と認めた場合臨時総会を開くことができる。
- 第10条 総会は次の事項を審議・決定する。
 (1) 事業の実施、収支決算及び予算に関すること。
 (2) 会則の改定、会の解散に関すること。
 (3) 役員の選出、その他の役員が必要と認めた事項。
- 第11条 総会は出席会員で成立し、議事は出席会員及び出席者に委任した者の過半数をもって議決する。
- 第12条 役員会は出席役員で成立し、会長が招集、議事は出席役員の過半数で議決する。役員会は総会への提案と決定事項の実施、運営にあたる。
- 第13条 本会に顧問をおくことができる。顧問は役員会の承認により、会長が委嘱し、会長の要請により各会議に参加し意見を述べる。
- 第14条 本会の経費は、会費及び寄付金をもってこれにあてる。会費は入学時16,000円、2年次以降年額10,000円とする。
- 第15条 本会の会計年度は4月1日より翌年3月31日までとする。
- 第16条 本会則の運営に必要な事項は、役員会の議を経て会長が定める。
- 附則 1 本会則は昭和62年6月22日から実施する。
 2 本会則は昭和63年6月12日一部改正し実施する。
 3 本改正会則は平成10年5月31日から実施する。

名古屋芸術大学後援会の弔意に関する内規

- 1 学生が死亡したときは、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金1万円を給付する。
- 2 保護者（父・母）が死亡したときも、担当者からの申請に基づきその家族に対し、弔慰金5,000円を給付する。
- 3 役員の上親等血族および1親等の姻族が死亡した場合は、弔慰金として5,000円を給付する。
- 4 弔慰金の給付については、事由の発生から1年以内に後援会事務局に申請されたものに限る。
- 5 この内規により処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会に事後報告する。

附則1. この内規は、慣例的に実施していたものを平成15年4月1日付けで明文化する。

附則2. この改正内規は、2006年6月1日より施行する。

名古屋芸術大学後援会顧問の委嘱に関する内規

- 1 名古屋芸術大学の顧問は、原則として、役員会の承認に基づき、会長、副会長経験者の中から会長が委嘱する。
- 2 顧問の任期は、会長経験者は15年、副会長経験者は10年とする。
- 3 この内規に基づき処理できない場合は、会長の判断により執行し役員会の承認を得るものとする。

附則 この内規は2005年（平成17年）4月1日から適用する。

学校法人名古屋自由学院決算報告

2006年度 消費収支計算書

2006年4月1日から2007年3月31日まで

(1) 決算 概要

① 消費収支の概要

(単位：千円)

消費収入の部			
科 目	前 年 度	当 年 度	増 減
学生生徒等納付金	4,221,933	4,218,792	△3,142
手数料	89,303	79,783	△9,520
寄付金	2,717	11,638	8,922
補助金	474,628	502,917	28,290
雑収入ほか	203,905	105,673	△98,232
A 帰属収入計	4,992,486	4,918,804	△73,682
基本金組入額	△8,000	△960,597	△952,597
B 消費収入の部合計	4,984,486	3,958,206	△1,026,279

消費支出の部			
科 目	前 年 度	当 年 度	増 減
人件費	2,982,121	2,815,747	△166,374
教育研究経費	1,425,527	1,398,145	△27,382
管理経費	381,839	433,826	51,987
借入金等利息ほか	14,552	13,184	△1,368
C 消費支出の部合計	4,804,039	4,660,902	△143,137

B - C 消費収支差額	180,447	△702,696	△883,143
A - C 帰属収支差額	188,447	257,902	69,455

(コメント)

平成18年度は、消費収入の部合計は39億58百万円となり、前年を10億26百万円ほど下回りました。主な原因は、基本金（今回は第1号基本金）への組入れ額が9億52百万円増加したことによります。消費支出の部では、人件費が28億15百万円と前年より1億66百万円減少、教育研究経費も27百万円減少しましたが、管理経費が51百万円増加し、支出の部合計では46億6千万円となりました。帰属収支は2億57百万円の収入超過でしたが、消費収支は△7億2百万円の支出超過となりました。

(注) 千円未満四捨五入（端数処理の関係で合計金額等が一致しないことがあります。）

貸借対照表

2007年3月31日現在

② 貸借対照表の概要

(単位：千円)

資産の部			
科 目	前年度末	当年度末	増 減
固定資産	15,515,861	16,018,843	502,982
有形固定資産	13,727,107	13,987,934	260,827
その他の固定資産	1,788,754	2,030,908	242,155
流動資産	4,970,261	4,455,001	△515,260
資産の部合計	20,486,122	20,473,843	△12,278

負債の部			
科 目	前年度末	当年度末	増 減
固定負債	974,996	882,267	△92,728
流動負債	1,325,773	1,148,321	△177,452
負債の部合計	2,300,769	2,030,589	△270,180

基本金の部			
科 目	前年度末	当年度末	増 減
1号基本金	18,194,583	19,155,181	960,597
4号基本金	334,000	334,000	0
基本金の部合計	18,528,583	19,489,181	960,597

消費収支差額の部			
科 目	前年度末	当年度末	増 減
消費収支差額の部	△343,230	△1,045,926	△702,696

科 目	前年度末	当年度末	増 減
負債・基本金の部 消費収支差額合計	20,486,122	20,473,843	△12,278

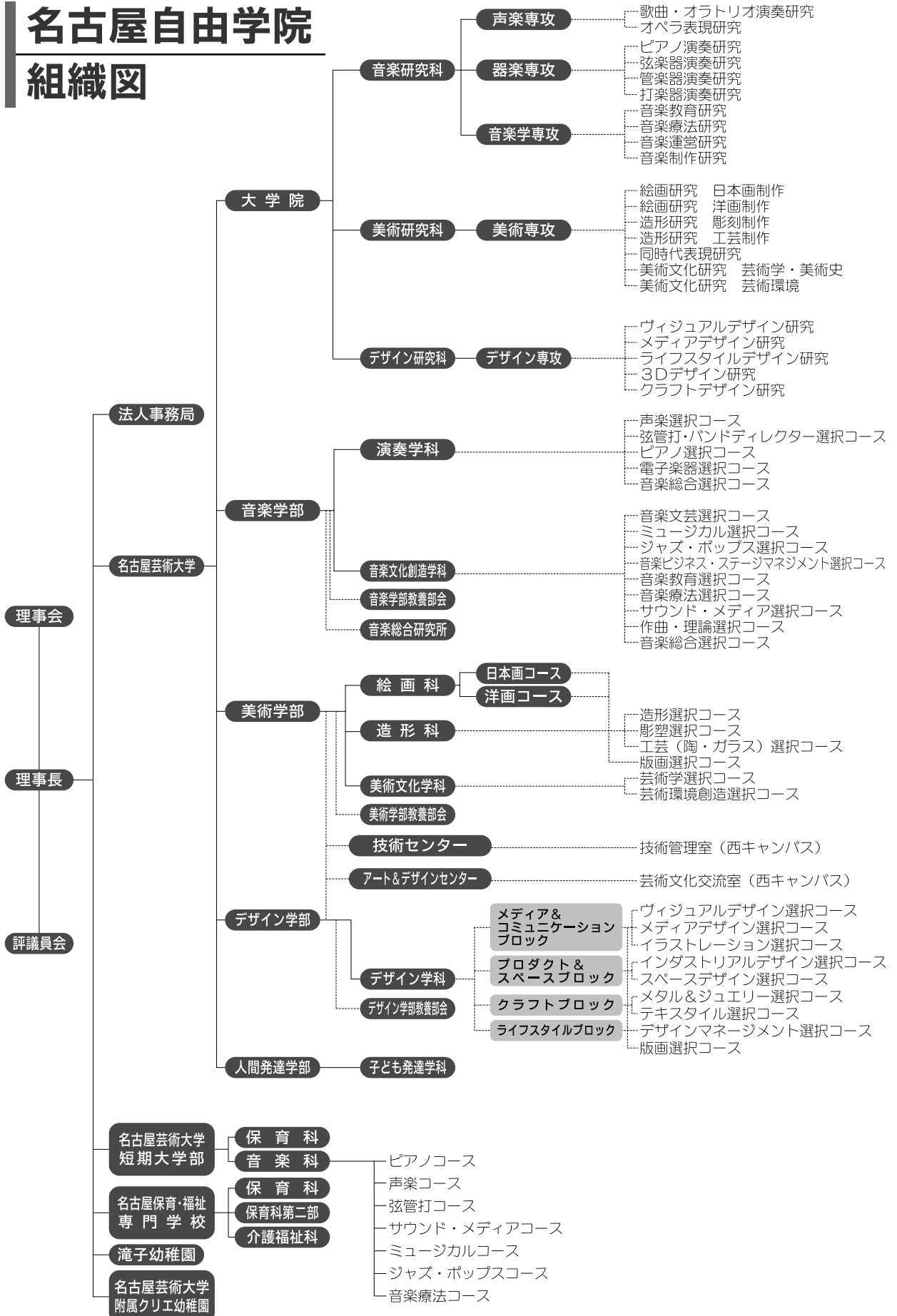
(コメント)

18年度末の資産総額は204億73百万円で、前年に比べ12百万円の減少とほぼ横ばいであります。現金・預金が前年と比べると、4億48百万円減少していますが、原因は①有形固定資産の取得と、②引当資産増加のため、預金から引当金への科目移動が主な要因です。

自己資金構成比率(＝(基本金＋消費収支差額)÷(負債＋基本金＋消費収支差額))は90.1%(前年は88.8%)と高い比率で推移しています。

(注)千円未満四捨五入(端数処理の関係で合計金額等が一致しないことがあります。)

名古屋自由学院 組織図



■「木祖セミナーハウス」をご利用ください

所在地：〒399-6203 長野県木曾郡木祖村大字小木曾4793

電話：0264-36-2570

アクセス：①マイカー利用—中央自動車道中津川インターより国道19号で90分走行、藪原より村道15分

②公共交通機関利用—JR中央西線藪原駅下車

バス利用25分「五月日（ごがつひ）」下車徒歩10分、

またはタクシー利用10分（要予約TEL. 0264-36-2403やぶはらタクシー）

利用できる期間：通年（ただし、12月30日～1月2日は休業）

利用できる方：①名古屋芸術大学ほか学校法人名古屋自由学院傘下の学校の学生・園児

②学校法人名古屋自由学院の教職員・その家族

③①の学校の卒業生・その家族

④その他特に使用が認められた方

（①の学生・園児の家族など）

（③④の方は、①②の方の紹介が必要です。）

利用料（食事は含まない）：学生 1,000円

園児 500円

教職員 1,500円

その他 2,000円

（同伴の3歳以上小学生以下は1,000円、2歳以下は無料）



食事：利用申し込みの際に予約してください。（料金は夕食1,500円、朝食500円）

利用申し込み手続き：下記申し込み先へ、電話で仮予約をしてください。その後の手続きは、そのときにご説明します。

付近の観光スポット：「こだまの森」（テニスコート・プール・パターゴルフ・ピクニックガーデン・多目的運動場・バーベキューハウス・巨大迷路・溪流釣りなど）、やぶはら高原スキー場、木曾福島、上松、寝覚の床、野麦峠、上高地、白骨温泉、乗鞍高原など

問い合わせ先・申し込み先：学校法人名古屋自由学院法人事務局総務部総務課（TEL. 0568-24-0311）

編集後記

2007年度、名古屋芸術大学は4番目の学部として人間発達学部（こども発達学科）を開設し、約170名の新学生が入学いたしました。また、6月15日（金）名古屋マリオットアソシアホテルにおきまして、人間発達学部の開設披露の会が盛大にとり行われ後援会役員も多数参加させて頂きました。

近年、日本は少子化が進み、回復の兆しも見えてこない中、こどもたちを取り巻く環境も大きく変化してきていると思います。そんな環境の中で教育に対するニーズも多様化してきました。そんな現状を把握しながら、専門的知識を学び、また、人を思いやる心を育み、これから数年後に、教育者を育てることを目的とした人間発達学部より、どれだけのこどもを育てるプロが誕生し、社会で活躍していくのか、大きな期待とともに後援会も協力していきたいと思っています。

広報委員長 荒川裕子

◆発行 名古屋芸術大学後援会

〒481-8535

愛知県北名古屋市徳重西沼65番地

TEL 0568-24-0325 FAX 0568-24-0326

◆編集 名古屋芸術大学後援会 広報委員会

◆表紙デザイン

本学デザイン学科学生 武藤 理恵子

◆封筒デザイン

本学デザイン学科卒業生 福見 光洋

◆発行日 2007年（平成19年）9月20日

